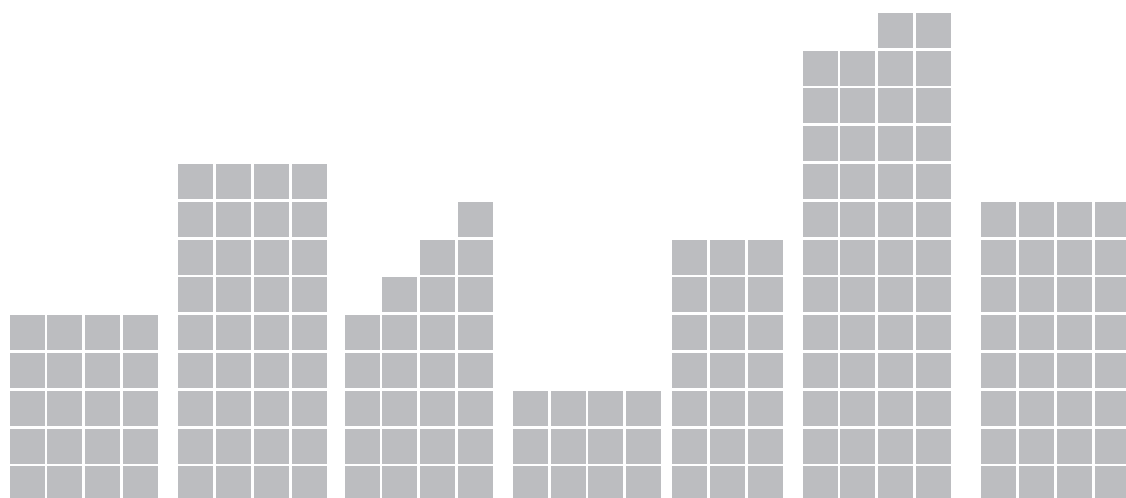


MIKI

オフィスレポート 福岡2024

OFFICE REPORT

FUKUOKA 2024



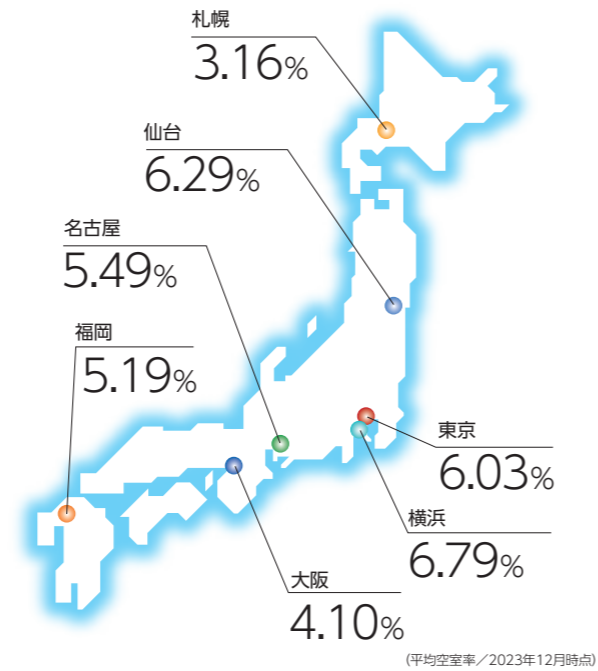
MIKI OFFICE REPORT FUKUOKA 2024 CONTENTS

全国主要ビジネス地区の最新状況	3
福岡ビジネス地区 データの読み方	7
福岡ビジネス地区 大型ビルMAP	9
最新・福岡のオフィスビル状況 福岡ビジネス地区①	11
最新・福岡のオフィスビル状況 福岡ビジネス地区②	13
地区別データ 赤坂・大名地区	15
天神地区	17
薬院・渡辺通地区	19
祇園・呉服町地区	21
博多駅前地区	23
博多駅東・駅南地区	25
広島市	27
北九州市	29
熊本市	30
鹿児島市	31
那覇市	32
企業情報	33



全国主要ビジネス地区の最新状況 ①

2023年の全国主要都市のオフィスビル市場はコロナ禍で低迷していたオフィスビル需要に回復の兆しも見え、立地改善や出社回帰などによる拡張傾向の成約の動きが見られました。平均空室率は東京、大阪が4年ぶりに前年比で低下した一方、新規供給量が2022年に比べて増加した影響から名古屋、札幌、仙台、横浜、福岡では前年比で上昇しました。平均賃料は東京では前年比で下げましたが、大阪、名古屋、札幌、横浜、福岡では2022年に比べて上昇、仙台では3年ぶりの上昇となりました。2024年の新規供給量は2023年と比べると東京で約22万3千坪、名古屋は約2万5千坪、仙台は約3万6千坪減少します。札幌は約6千坪、横浜は約1万8千坪の増加となります。なかでも、大阪は約22万1千坪、福岡では1万8千坪増加し、1990年以降で最大の供給となる見込みです。2024年のオフィスビル市場は供給量が増加する都市では空室率の上昇が懸念されるものの、オフィス需要の回復傾向が引き続き進むことが期待されています。弊社では、全国主要都市のオフィスビル市場の最新データをホームページでご提供しています。本誌とあわせて是非ご活用下さい。



東京 ビジネス地区

東京ビジネス地区の平均空室率は6.03%に低下

東京ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は6.03%、前年同月比0.44ポイント下げました。2023年の新規供給量(延床面積)は2022年と比べて約29万坪増加しました。約8割のビルで募集区画を残しましたが大規模ビルがおおむね高稼働したことから、12月時点の新築ビルの空室率は前年同月比3.59ポイントの上昇に止まりました。既存ビルでは統合などに伴う大型成約の動きが見られたため、空室面積がこの1年間で約6万7千坪減少し、空室率は前年同月比0.89ポイント低下しました。平均賃料は12月時点で41カ月ぶりに上昇したものの、前年同月比1.55%(311円)下げて19,748円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約23万3千坪(28棟)あり、2023年に比べると棟数は6棟増加しますが、供給量は約22万3千坪減少します。すでに成約に向けた動きが見られるビルもあるため、新規供給による市況への影響は少ないと思われます。(M. T)

大阪 ビジネス地区

大阪ビジネス地区の平均空室率は4%台に低下

大阪ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は4.10%、前年同月比0.96ポイント下げました。2023年の新規供給は延床面積合計約1万2千坪あり、竣工した2棟が募集面積を残していますが、2022年と比べて供給量(延床面積)が約10万1千坪減少したことや、既存ビルでも建替え予定ビルからの移転や拡張傾向の成約の動きが見られたため、大阪ビジネス地区全体の空室面積はこの1年間で約2万1千坪減少しました。平均賃料は空室率の低下に伴い、既存ビルの一部で募集賃料を上げる動きが見られたことなどから、12月時点では前年同月比0.88%(104円)上げた11,976円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約23万3千坪、延床面積1万坪以上の大規模ビル5棟を含めた9棟が竣工する予定です。大阪ビジネス地区では比較可能な1990年以降で最大規模の供給となることから、今後の市況の動向が注視されます。(D. O)

名古屋 ビジネス地区

名古屋ビジネス地区の平均空室率は5%台で推移

名古屋ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は5.49%、前年同月比0.04ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計約5万坪(5棟)あり、すべてのビルで募集面積を残していますが、既存ビルでは建替え予定ビルからの移転や拡張移転、館内増床などの成約が見られたため、名古屋ビジネス地区全体の空室面積はこの1年間で約1千5百坪の小幅な増加に止まりました。平均賃料は年間を通して上昇傾向で推移したことから、12月時点では前年同月比1.80%(218円)上げて12,327円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約2万5千坪、6棟が竣工を予定しています。2023年に比べると棟数は1棟増加、供給量(延床面積)は約2万5千坪減少します。一部で成約に向けた動きが進んでいますが、2023年に竣工したビルの成約動向や竣工予定ビルへの移転に伴う二次空室などによる市況への影響が注視されます。(H. T)

札幌 ビジネス地区

札幌ビジネス地区の平均空室率は前年同月比で上昇も3%台の低水準

札幌ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は3.16%、前年同月比0.92ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計約1万6千坪、5棟が竣工しました。8月以降に竣工したビルで募集面積を残していることや、既存ビルでも撤退や縮小に伴う解約の影響があったため、札幌ビジネス地区全体の空室面積はこの1年間で約5千坪増加しました。平均賃料は新築ビルの募集賃料が高設定だったこともあり、前年同月比4.23%(413円)上げて10,184円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約2万2千坪、10棟が竣工を予定しています。2023年に比べて供給量(延床面積)は約5千7百坪、棟数は5棟増加します。延床面積3千坪以上の一部の大型ビルではすでに引き合いも多く、高稼働での竣工が見込まれています。同1千坪未満の小型ビルの竣工も多いため、札幌ビジネス地区では大型空室の品薄感が継続しそうです。(K. K)

仙台 ビジネス地区

仙台ビジネス地区の平均空室率は2022年1月以来の6%台に上昇

仙台ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は6.29%、前年同月比1.61ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計約4万2千坪、6棟が竣工しました。一部が高稼働となっているものの、竣工したビルすべてで募集面積を残していることや、既存ビルの空室解消も大きく進まなかったことから、仙台ビジネス地区全体の空室面積はこの1年間で約8千3百坪増加しました。平均賃料は既存ビルで募集賃料を下げる動きが見られましたが、新築ビルの賃料が高水準だったため、12月時点では前年同月比0.70%(65円)上げて9,302円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約6千坪あり、「T-PLUS仙台(延床面積約4千2百坪)」と「仙台KSビル(同約1千8百坪)」の2棟が竣工予定です。2024年は新規供給の減少に加え、大型空室への引き合いも見られることから、市況の緩やかな改善が期待されます。(Y. T)

横浜 ビジネス地区

横浜ビジネス地区の平均空室率は2016年4月以来の6%台に上昇

横浜ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は6.79%、前年同月比1.68ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計約4万6千坪、2棟が竣工しました。いずれも募集面積を残していることや、既存ビルでも大型空室の募集開始や二次空室の影響があったことから、横浜ビジネス地区全体の空室面積がこの1年間で約1万7千坪増加しました。平均賃料は新築ビルの竣工だけでなく、既存ビルの募集賃料の上昇も見られたため、12月時点では前年同月比1.42%(177円)上げて12,630円となりました。2024年の新規供給は延床面積合計約6万3千坪、延床面積1万坪以上の大規模ビル2棟を含めた6棟が竣工を予定しており、2023年に比べて棟数は4棟、供給量(延床面積)は約1万8千坪増加します。2023年の竣工ビルでも空室解消が進んでいないため、横浜ビジネス地区のオフィス市況の今後の動向が注視されます。(T. H)

福岡 ビジネス地区

福岡ビジネス地区の平均空室率は5%台に上昇

福岡ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は5.19%、前年同月比0.82ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計約5万坪、13棟が竣工しました。2022年に比べて棟数は4棟減少しましたが、供給量(延床面積)は約2万6千坪増加し、8割以上のビルで募集面積を残しています。既存ビルでは拡張傾向の成約が見られた一方で、撤退や集約などに伴う解約の動きが出たため、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1年間で約6千7百坪増加しました。12月時点の平均賃料は11,550円、前年同月比1.17%(134円)上げました。平均空室率が一時6%台となったこともあり、2023年は上昇基調がやや弱まりました。2024年の新規供給は延床面積合計約6万8千坪、14棟が竣工する予定です。2023年と比べると棟数は1棟、供給量(延床面積)は約1万8千坪増加します。2023年に続く大型供給となるため、今後の動向が注目されます。(K. H)

全国主要ビジネス地区の最新状況 ②

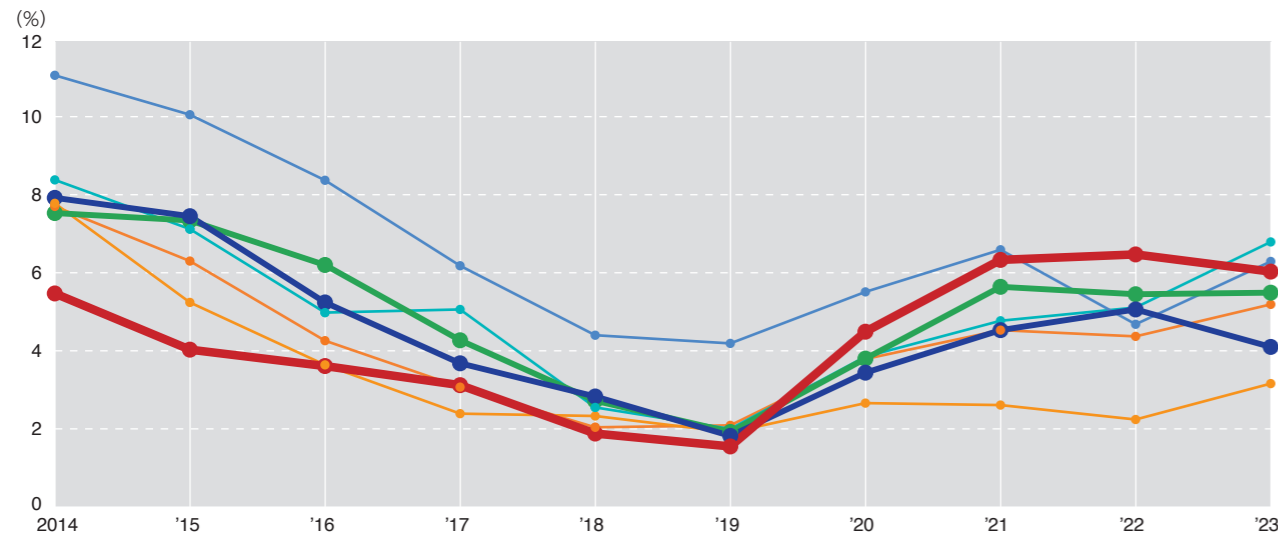
【各地域の調査対象面積／調査対象ビル数】2023年12月時点

● 大阪ビジネス地区(主要6地区)延床面積1,000坪以上／808棟

● 東京ビジネス地区(都心5区)基準階面積100坪以上／2,585棟

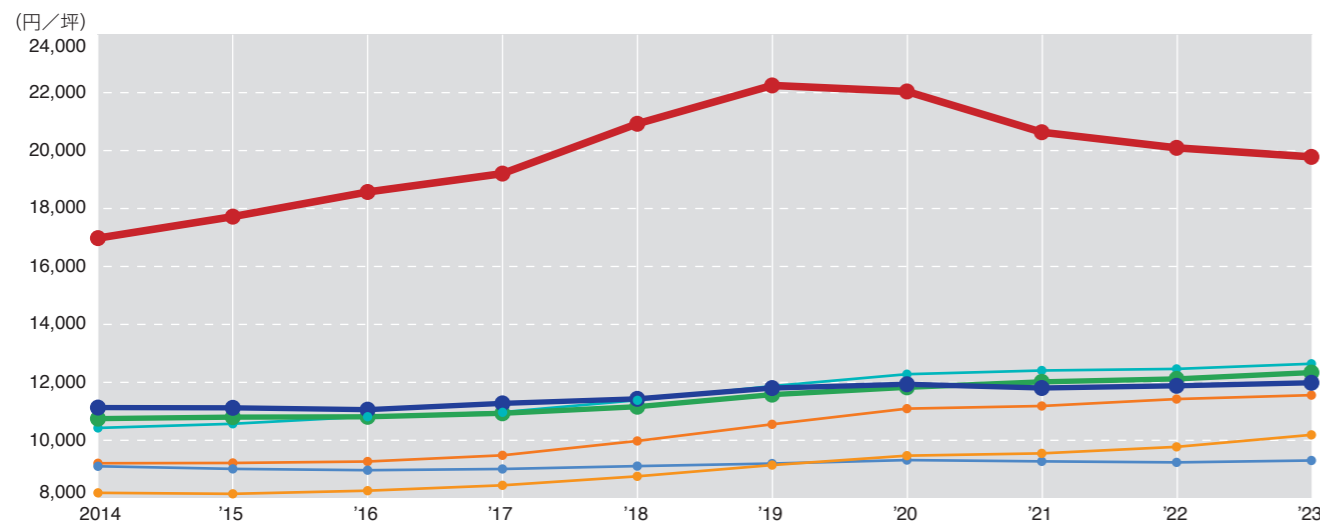
● 名古屋ビジネス地区(主要4地区)延床面積500坪以上／479棟

平均空室率



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
東京ビジネス地区	5.47	4.03	3.61	3.12	1.88	1.55	4.49	6.33	6.47	6.03
大阪ビジネス地区	7.92	7.45	5.24	3.68	2.83	1.82	3.44	4.53	5.06	4.10
名古屋ビジネス地区	7.53	7.34	6.20	4.27	2.72	1.92	3.80	5.64	5.45	5.49
札幌ビジネス地区	7.78	5.24	3.64	2.39	2.33	1.91	2.66	2.61	2.24	3.16
仙台ビジネス地区	11.06	10.05	8.37	6.18	4.40	4.19	5.51	6.59	4.68	6.29
横浜ビジネス地区	8.38	7.12	4.98	5.06	2.55	2.00	3.85	4.77	5.11	6.79
福岡ビジネス地区	7.70	6.30	4.26	3.07	2.04	2.09	3.79	4.53	4.37	5.19

平均賃料



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
東京ビジネス地区	16,953	17,692	18,540	19,173	20,887	22,206	21,999	20,596	20,059	19,748
大阪ビジネス地区	11,123	11,114	11,051	11,267	11,423	11,794	11,925	11,796	11,872	11,976
名古屋ビジネス地区	10,742	10,794	10,805	10,926	11,152	11,568	11,819	12,008	12,109	12,327
札幌ビジネス地区	8,189	8,155	8,263	8,448	8,757	9,144	9,468	9,547	9,771	10,184
仙台ビジネス地区	9,103	9,013	8,968	9,010	9,109	9,197	9,316	9,272	9,237	9,302
横浜ビジネス地区	10,422	10,565	10,813	10,965	11,377	11,862	12,271	12,398	12,453	12,630
福岡ビジネス地区	9,207	9,217	9,267	9,480	9,974	10,547	11,086	11,177	11,416	11,550

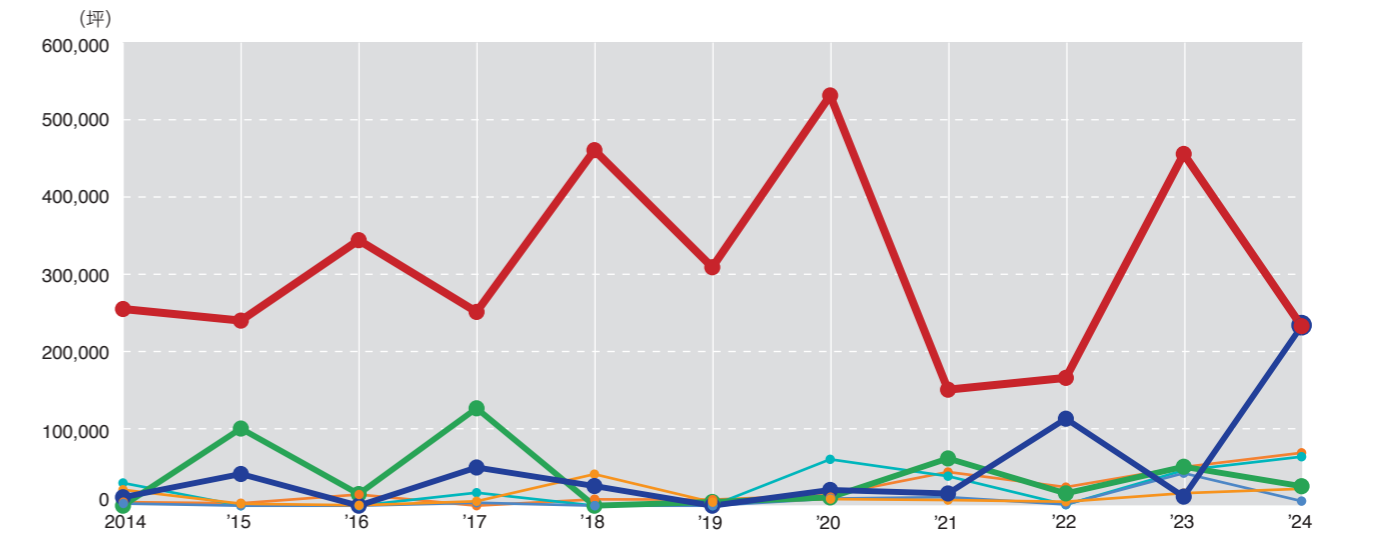
● 札幌ビジネス地区(主要5地区)延床面積100坪以上／401棟

● 横浜ビジネス地区(主要4地区)延床面積500坪以上／425棟

● 仙台ビジネス地区(主要5地区)延床面積300坪以上／360棟

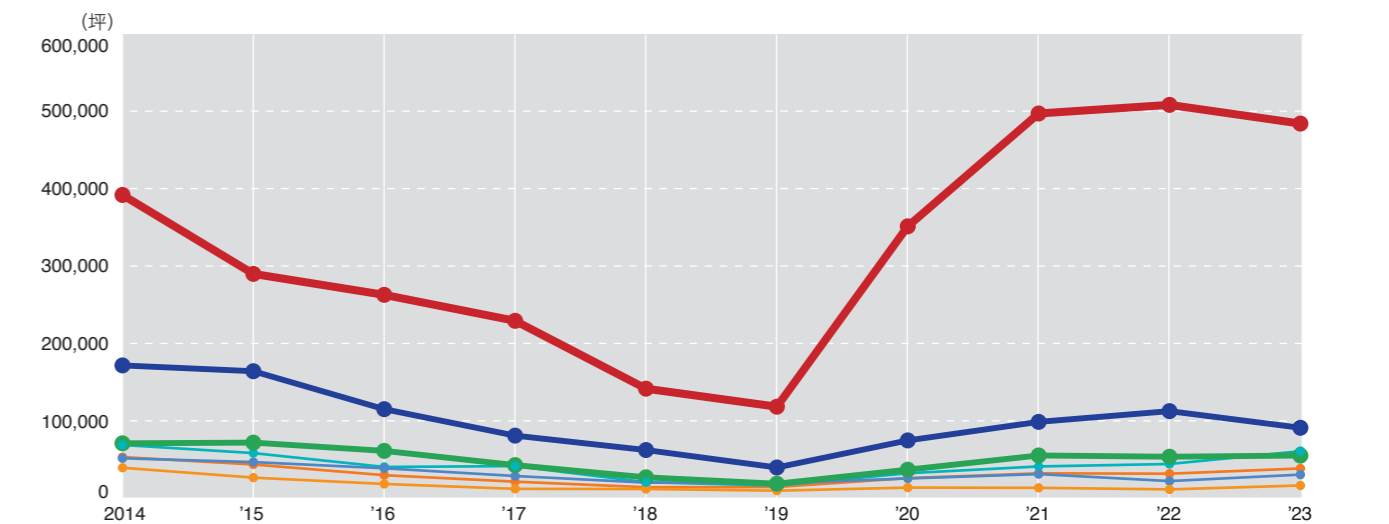
● 福岡ビジネス地区(主要6地区)延床面積100坪以上／622棟

供給量(延床面積)



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
東京ビジネス地区	254,748	239,719	343,908	250,968	460,494	308,829	531,372	150,259	165,571	455,615	232,539
大阪ビジネス地区	10,952	41,051	0	49,487	25,448	0	20,385	15,822	112,664	11,734	232,609
名古屋ビジネス地区	0	99,916	15,063	126,142	0	4,800	10,699	61,198	15,939	50,432	25,216
札幌ビジネス地区	20,629	2,504	512	5,700	40,814	4,532	8,554	7,302	5,154	16,214	21,876
仙台ビジネス地区	2,862	0	0	3,833	0	0	9,213	11,044	1,583	42,121	5,939
横浜ビジネス地区	29,417	0	0	16,812	0	0	60,052	38,213	1,259	45,818	63,437
福岡ビジネス地区	4,588	3,125	14,456	0	8,201	7,906	13,701	43,648	24,017	50,018	68,460

空室面積(貸室)



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
東京ビジネス地区	391,781	289,828	262,736	229,199	141,528	118,254	351,226	497,010	508,152	483,980
大阪ビジネス地区	171,584	164,079	115,062	80,885	62,271	39,738	74,688	98,647	112,521	91,027
名古屋ビジネス地区	70,958	71,855	61,186	42,827	27,029	18,744	36,898	55,255	53,627	55,151
札幌ビジネス地区	39,394	26,624	18,464	12,113	11,917	9,763	13,743	13,480	11,431	16,480
仙台ビジネス地区	51,618	46,716	38,713	28,726	20,215	19,310	25,539	31,201	22,165	30,503
横浜ビジネス地区	68,838	58,328	40,435	41,498	20,827	16,235	32,313	41,079	44,236	60,753
福岡ビジネス地区	53,156	43,638	29,790	21,412	14,205	14,489	26,028	32,179	31,696	38,439

データの読み方

テナント入居状況、賃貸条件の動向および新築・既存別の賃貸条件の格差、ビルの供給状況を集計分析しました。

- 調査対象地区**
- 福岡ビジネス地区…主要6地区(赤坂・大名地区、天神地区、薬院・渡辺通地区、祇園・呉服町地区、博多駅前地区、博多駅東・駅南地区)
 - 福岡ビジネス地区外…広島市、北九州市、熊本市、鹿児島市、那覇市

- 調査対象**
- 調査対象地区内にある延床面積が100坪以上の主要貸事務所ビル。

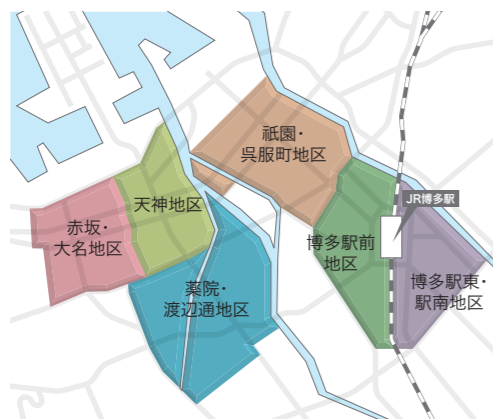
- 調査対象ビル数**
- 福岡ビジネス地区**622棟**。
(新築ビル**13棟**、既存ビル**609棟**)
 - 広島市(**143棟**)、北九州市(**45棟**)、熊本市(**57棟**)、鹿児島市(**39棟**)、那覇市(**41棟**)

- 調査時期**
- 各年12月時点

- 項目の見方**
- 面積は全て坪数で表示しました。
 - 貸室面積は「延床面積×規模別のレンタル比」としました。

規模/延床面積	レンタル比
0～1,000坪	80%
1,001～2,000坪	75%
2,001～3,000坪	70%
3,001坪以上	65%

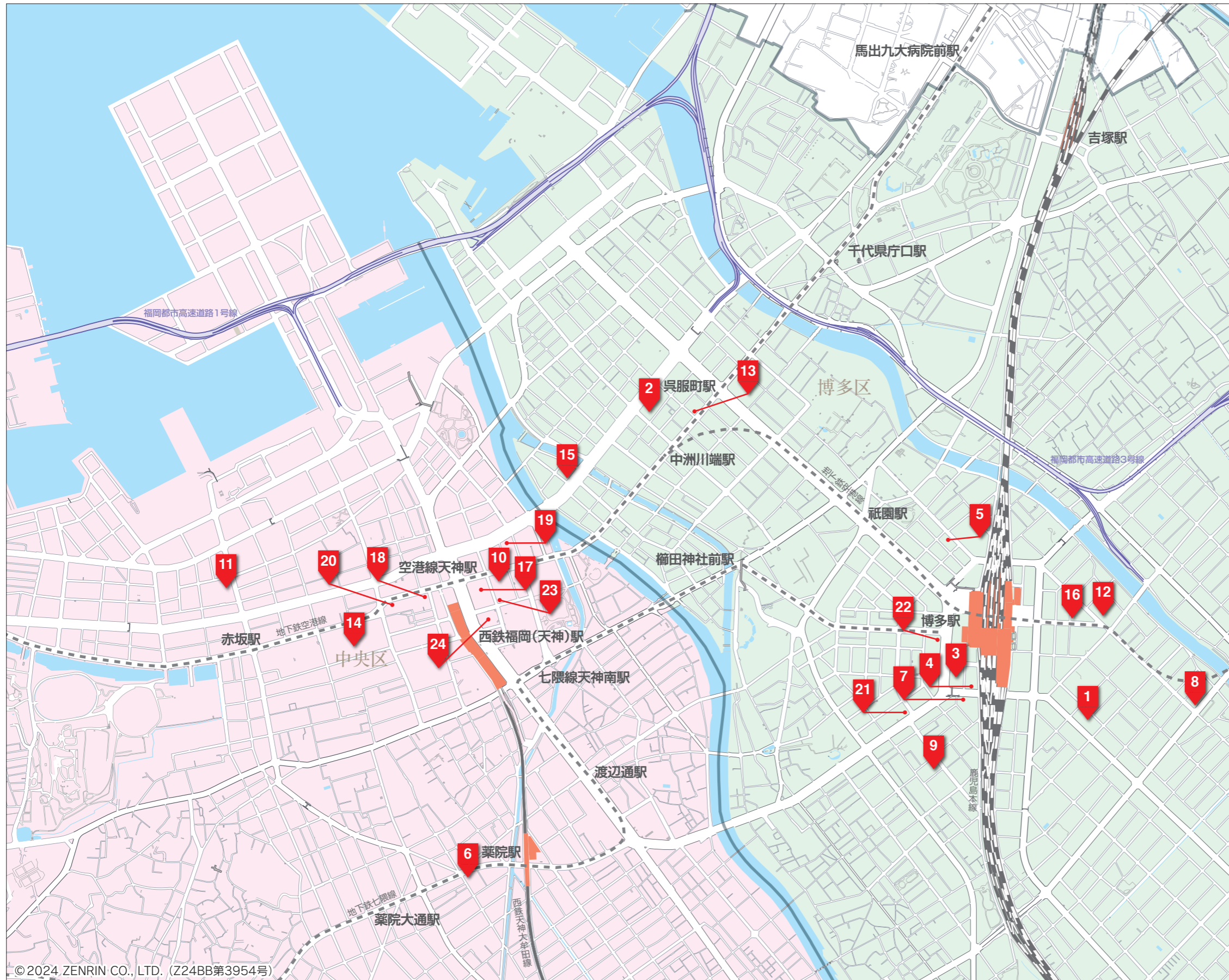
- 平均賃料は全て坪単価で表示しました(共益費は原則含まず)。
- 面積、平均賃料とも、共用負担(契約面積の中に共用部分の面積を含ませてあるもの)のあるものは、全て専用面積および専用面積当りに修正しました。
- 賃貸条件は原則として基準階の新規募集条件を対象にしました。
- 2023年1月以降12月までに竣工したビルを新築ビルとし、それ以前のビルを既存ビルとしました(2014年～2022年も同様)。
- 竣工予定ビルについては着工したビルを集計の対象としました。
- 2024年の供給量は竣工予定ビルを含んでいますので、今後数値に変更が発生する可能性があります。
- 2023年以前の供給量は竣工後に数値確認を行った結果によるものです。



2021年5月撮影

福岡ビジネス地区 大型ビルMAP

※竣工予定ビルの概要については今後、変更になる可能性があります。



- 1 TerasoII**
2014年3月竣工/延床面積:約4,588坪/地上10階・地下1階
- 2 長府博多ビジネスセンター**
2015年2月竣工/延床面積:約3,125坪/地上8階
- 3 JRJP博多ビル**
2016年4月竣工/延床面積:約13,310坪/地上12階・地下3階
- 4 紙与博多中央ビル**
2018年4月竣工/延床面積:約5,675坪/地上13階
- 5 九勸承天寺通りビル**
2020年4月竣工/延床面積:約6,216坪/地上12階・地下2階
- 6 KMGビル**
2021年1月竣工/延床面積:約3,151坪/地上8階
- 7 博多深見パークビルディング**
2021年2月竣工/延床面積:約3,809坪/地上13階・地下1階
- 8 T-Building HAKATA EAST**
2021年4月竣工/延床面積:約3,985坪/地上11階
- 9 博多コネクタ**
2021年7月竣工/延床面積:約6,488坪/地上9階
- 10 天神ビジネスセンター**
2021年9月竣工/延床面積:約18,480坪/地上19階・地下2階
- 11 福岡舞鶴スクエア**
2022年3月竣工/延床面積:約6,200坪/地上9階
- 12 博多イーストテラス**
2022年8月竣工/延床面積:約8,795坪/地上10階
- 13 博多FDビジネスセンター**
2023年2月竣工/延床面積:約6,590坪/地上12階
- 14 福岡大名ガーデンシティ**
2023年3月竣工/延床面積:約27,709坪/地上25階・地下1階
- 15 福岡Kスクエア**
2023年6月竣工/延床面積:約4,878坪/地上14階
- 16 コネクトスクエア博多**
2024年3月竣工/延床面積:約6,499坪/地上12階・地下1階
- 17 ワンフクオカビルディング(仮称)**
2024年12月竣工/延床面積:約44,000坪/地上19階・地下4階
- 18 ヒューリック福岡ビル建替計画**
2024年12月竣工/延床面積:約6,310坪/地上19階・地下3階
- 19 天神ブリッククロス**
2025年3月竣工/延床面積:約11,207坪/地上18階・地下2階
- 20 住友生命福岡ビル・西通りBC建替計画**
2025年6月竣工/延床面積:約12,714坪/地上24階・地下2階
- 21 中央日土地博多駅前ビル**
2025年6月竣工/延床面積:約3,947坪/地上13階・地下2階
- 22 Walkプロジェクト新築工事**
2026年1月竣工/延床面積:約22,893坪/地上14階・地下4階
- 23 天神ビジネスセンター2期計画**
2026年6月竣工/延床面積:約19,036坪/地上18階・地下2階
- 24 天神1-7計画**
2026年12月竣工/延床面積:約22,400坪/地上21階・地下4階

© 2024 ZENRIN CO., LTD. (Z24BB第3954号)

※福岡ビジネス地区内にある延床面積3,000坪以上、2013年以降竣工および竣工予定の貸事務所ビルを対象としました。

(2024年2月時点)

福岡ビジネス地区①

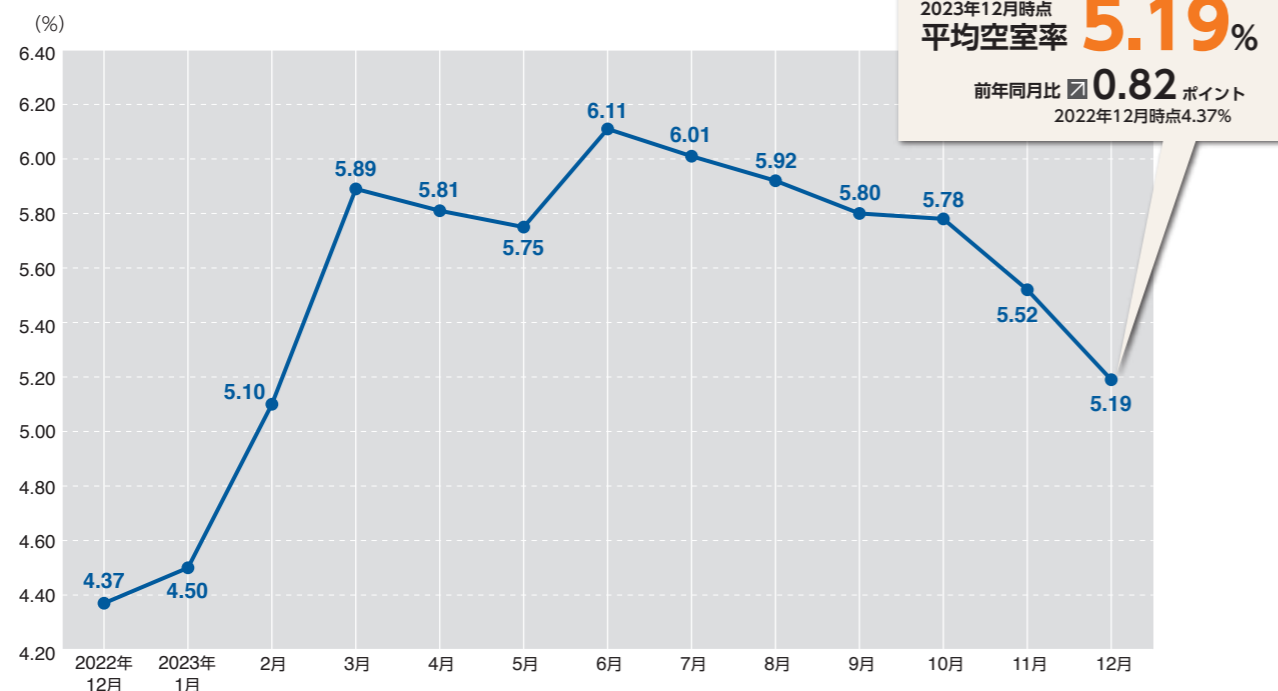
2023年の動向

福岡ビジネス地区の2023年12月時点の平均空室率は5.19%、前年同月比0.82ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計50,018坪(13棟)あり、2022年と比べて棟数は4棟減少しましたが、供給量(延床面積)が約2万6千坪増加しました。満室稼働となったビルが少なく、8割以上のビルが募集面積を残しているため、新築ビルの空室面積は前年比約5千4百坪増加しました。既存ビルは館内増床や拡張移転、分室開設などの成約が見られたものの、撤退や集約に伴う解約の動きがあったことや、2022年に竣工したビルの一部が空室を残して既存ビルの区分に移した影響もあり、空室面積がこの1年間で約1千4百坪増加しました。12月時点の平均賃料は前年同月比1.17%(134円)上げて11,550円となりました。平均空室率が5%台後半から6%台に上昇したことで、平均賃料が小幅に低下する月も見られるなど、2022年に比べて上昇基調がやや弱まりました。(K.H)

<平均空室率の推移と動向>

- 1月▲**／4.50%、前月比0.13ポイント上昇。1月は新築ビル1棟が募集面積を残して竣工したことや、撤退などに伴う解約の影響が見られたため、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約1千坪増加した。1月時点の平均賃料は11,424円、前月比0.07%(8円)上げた。
- 2月▲**／5.10%、前月比0.60ポイント上昇。2月は新築ビル2棟が募集面積を残して竣工したほか、既存ビルでも縮小や新築ビルへの移転などに伴う解約の動きが出ていたことから、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約4千7百坪増加した。2月時点の平均賃料は11,433円、前月比0.08%(9円)上げた。
- 3月▲**／5.89%、前月比0.79ポイント上昇。3月は拡張移転や新規開設など中小規模の成約が見られたが、大規模ビル1棟を含めた3棟の新築ビルが募集面積を残して竣工したため、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約6千4百坪増加した。3月時点の平均賃料は11,489円、前月比0.49%(56円)上げた。
- 4月▼**／5.81%、前月比0.08ポイント低下。4月は新築ビルへの移転や集約に伴う解約の動きがあったものの、新築ビル1棟が高稼働で竣工したほか、館内増床や拡張移転などの成約も見られたことから、福岡ビジネス地区全体の空室面積はこの1カ月間で約5百坪減少した。4月時点の平均賃料は11,495円、前月比0.05%(6円)上げた。
- 5月▼**／5.75%、前月比0.06ポイント低下。5月は自社ビルや郊外への移転に伴う解約の影響が見られたが、拡張移転や新規開設のほか、建替え予定ビルからの移転などによる成約があったため、福岡ビジネス地区全体の空室面積はこの1カ月間で約4百坪減少した。5月時点の平均賃料は11,483円、前月比0.10%(12円)下げた。
- 6月▲**／6.11%、前月比0.36ポイント上昇。6月は竣工1年未満の新築ビルに大型成約が見られたものの、既存ビルの成約が進まなかったことや、新築ビル1棟が募集面積を残して竣工した影響もあり、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約2千9百坪増加した。6月時点の平均賃料は11,481円、前月比0.02%(2円)下げた。

平均空室率(月次) ● 平均



7月▼／6.01%、前月比0.10ポイント低下。7月は新築ビル1棟が募集面積を残して竣工したが、既存ビルや竣工1年未満のビルに郊外からの移転や拡張移転、分室の開設などに伴う成約の動きがあったため、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約7百坪減少した。7月時点の平均賃料は11,495円、前月比0.12%(14円)上げた。

8月▼／5.92%、前月比0.09ポイント低下。8月は拡張移転や館内増床に伴う中小規模の成約が見られたことや、解約の動きが少なかったこともあり、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約1千2百坪減少した。8月時点の平均賃料は11,505円、前月比0.09%(10円)上げた。

9月▼／5.80%、前月比0.12ポイント低下。9月は集約に伴う大型解約の影響が出ていたものの、館内増床や拡張移転、分室の開設などに伴って、新築・既存ビルともに成約が進んだことから、福岡ビジネス地区全体の空室面積はこの1カ月間で約9百坪減少した。9月時点の平均賃料は11,493円、前月比0.10%(12円)下げた。

10月▼／5.78%、前月比0.02ポイント低下。10月は統合に伴う大型解約や縮小の影響が出ていた一方で、新築ビル1棟が高稼働で竣工したほか、竣工1年未満の新築ビルにも拡張移転などの成約の動きが見られたため、福岡ビジネス地区全体の空室面積はこの1カ月間で小幅に減少した。10月時点の平均賃料は11,499円、前月比0.05%(6円)上げた。

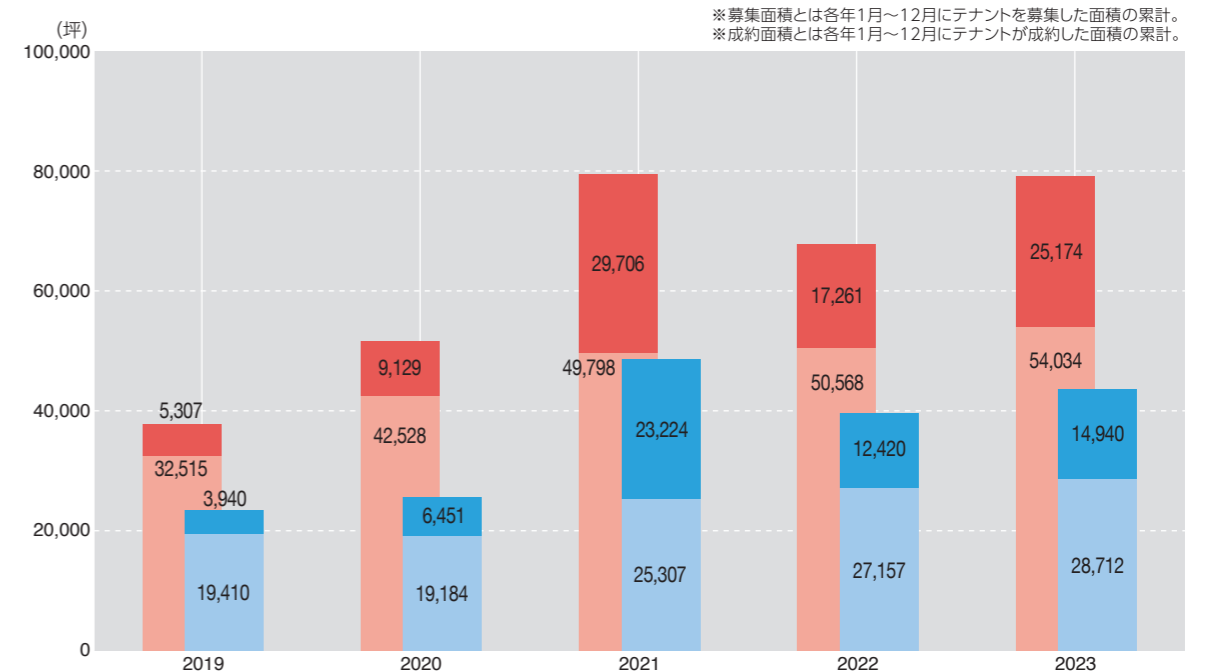
11月▼／5.52%、前月比0.26ポイント低下。11月は竣工1年未満の新築ビルに大型成約が見られたほか、既存ビルにも拡張移転や館内増床などに伴う成約の動きが進んだ。新規供給や解約の影響が小さかったこともあり、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間に約1千8百坪減少した。11月時点の平均賃料は11,524円、前月比0.22%(25円)上げた。

12月▼／5.19%、前月比0.33ポイント低下。12月は解約の影響が小規模に止まったことに加えて、拡張移転や自社ビルからの移転、コールセンターの開設など成約の動きが多かったため、福岡ビジネス地区全体の空室面積がこの1カ月間で約2千5百坪減少した。12月時点の平均賃料は11,550円、前月比0.23%(26円)上げた。

今後の状況

福岡ビジネス地区の2024年の新規供給は延床面積合計68,460坪、14棟が竣工する予定です。2023年と比べて棟数は1棟、供給量(延床面積)が約1万8千坪増加し、福岡ビジネス地区の供給量として比較可能な1990年以降で最も供給量が多くなる見込みです。地区別で見ると、赤坂・大名地区は延床面積合計3,172坪、1月に2棟が竣工します。天神地区は2年ぶりの新規供給となり、2024年の竣工予定ビルの中で最大規模の「仮称/ワンフクオカビルディング(同44,000坪)」と、「ヒューリック福岡ビル建替計画(同6,310坪)」が12月に竣工予定のほか、小型ビル1棟が竣工し、同合計は50,957坪に上ります。薬院・渡辺通地区は1棟(同365坪)、祇園・呉服町地区は3棟(同合計4,190坪)、博多駅前地区は4棟(同合計3,277坪)の新規供給となります。博多駅東・駅南地区は3月に「コネクトスクエア博多(同6,499坪)」が竣工予定です。2024年は福岡ビジネス地区のすべての地区で新規供給があり、2023年に続く大型供給となるため、今後の動向が注目されます。(K.H)

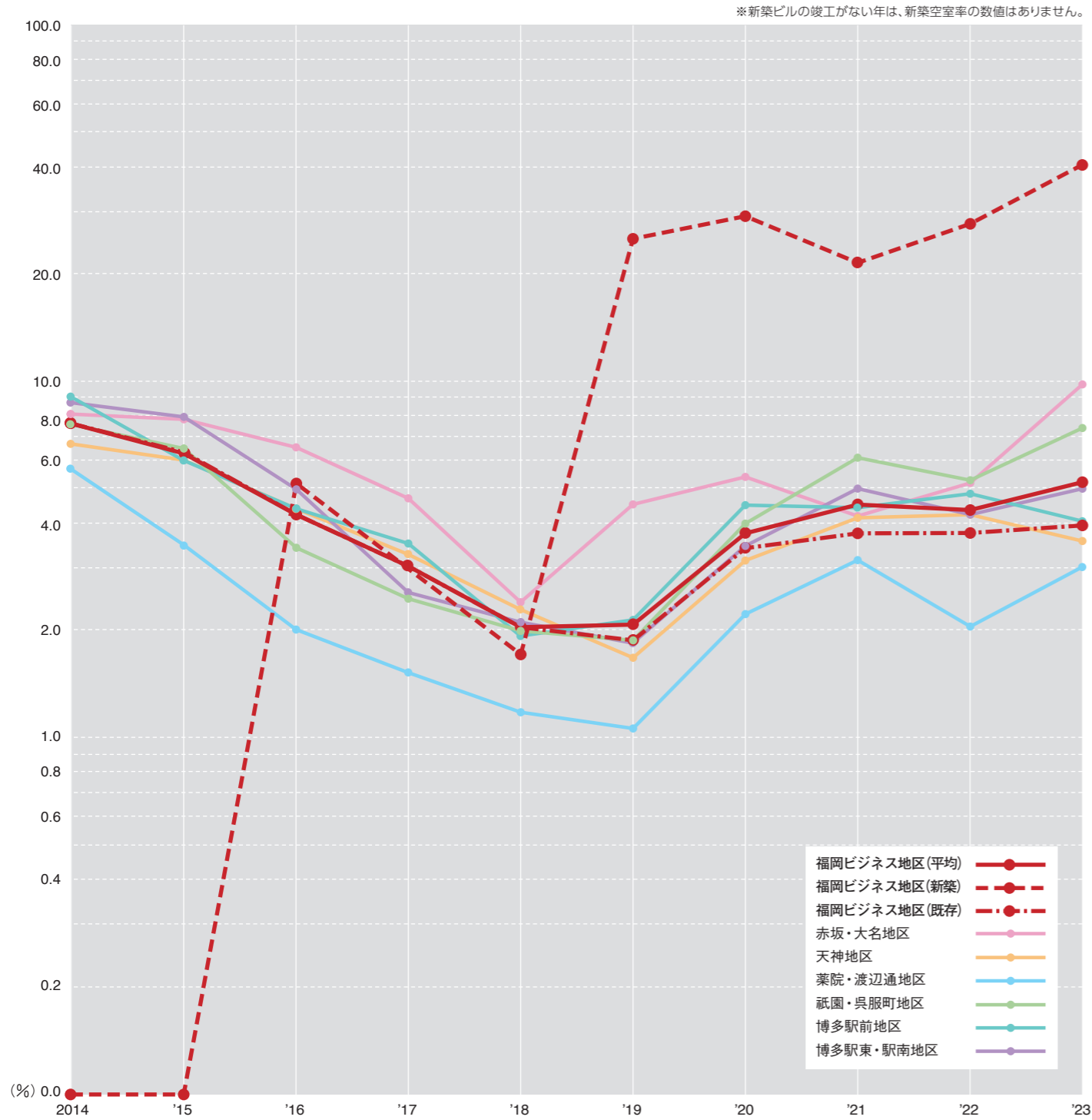
募集面積と成約面積



※募集面積とは各年1月～12月にテナントを募集した面積の累計。
※成約面積とは各年1月～12月にテナントが成約した面積の累計。

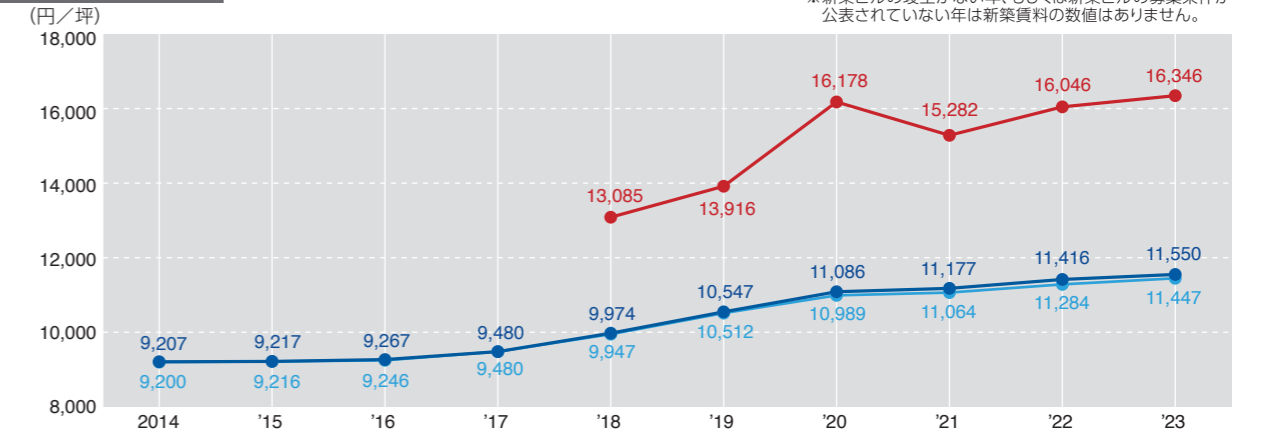
福岡ビジネス地区②

空室率

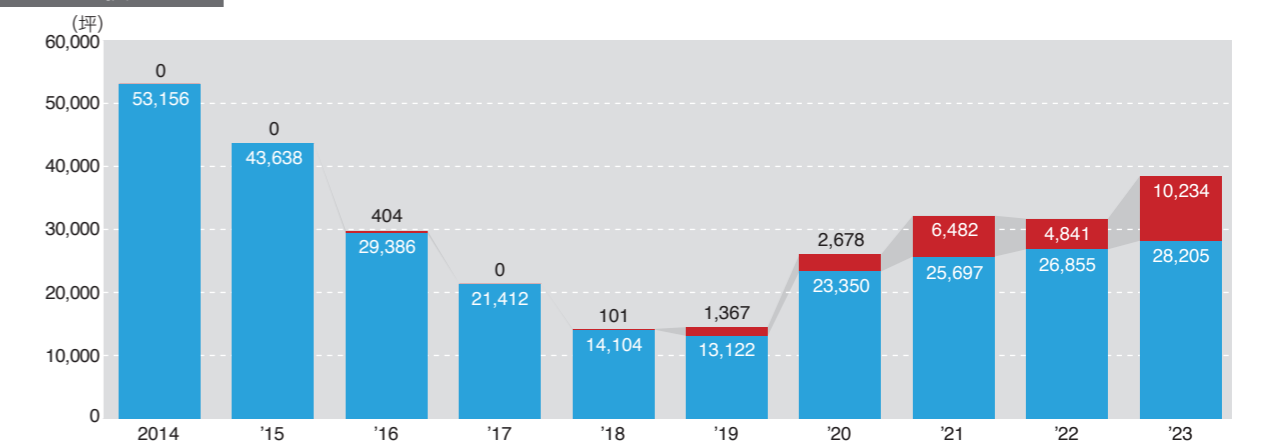


	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	997,015	1,000,325	1,013,591	1,011,634	1,011,826	1,006,545	996,070	1,029,301	1,050,861	1,085,956
貸室面積(坪)	689,993	692,139	699,043	697,782	697,841	694,411	687,374	709,796	725,146	740,418
空室面積(坪)	53,156	43,638	29,790	21,412	14,205	14,489	26,028	32,179	31,696	38,439
空室率/平均(%)	7.70	6.30	4.26	3.07	2.04	2.09	3.79	4.53	4.37	5.19
空室率/新築(%)	0.00	0.00	5.15	—	1.77	25.76	29.34	21.82	28.05	40.65
空室率/既存(%)	7.73	6.32	4.25	3.07	2.04	1.90	3.44	3.78	3.79	3.94
空室のあるビル比率(%)	70.26	66.27	54.68	45.72	37.56	34.75	50.68	50.50	47.88	49.04

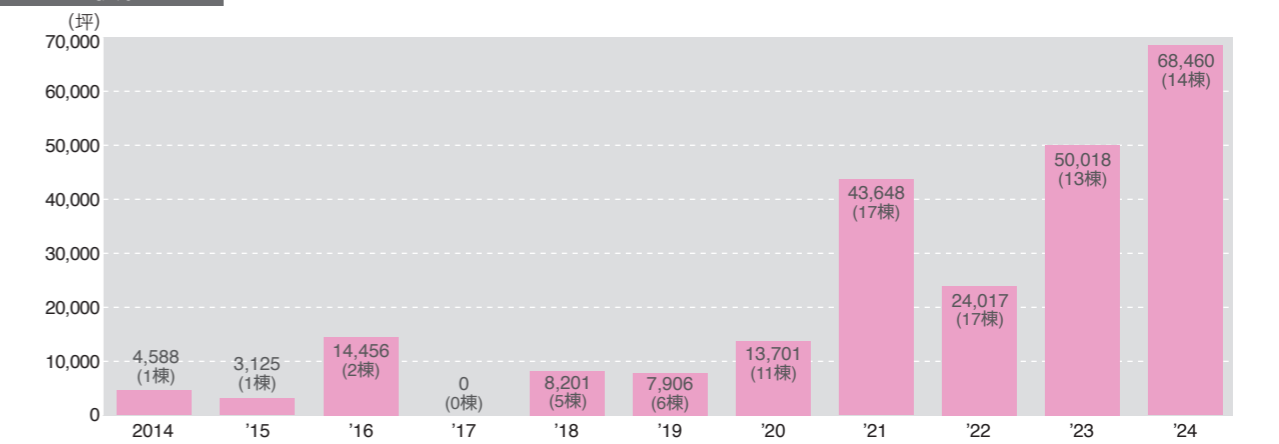
平均賃料



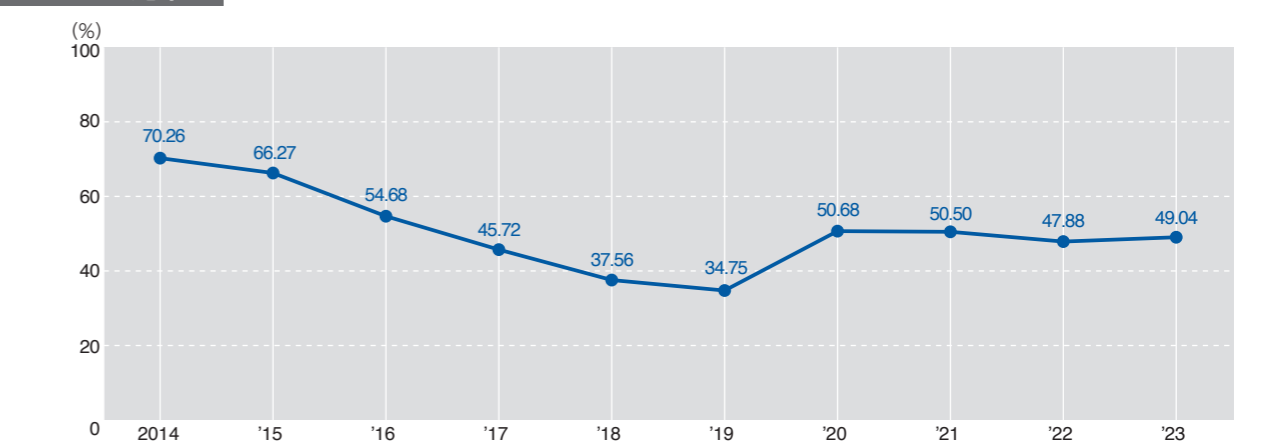
空室面積



新築ビルの供給量



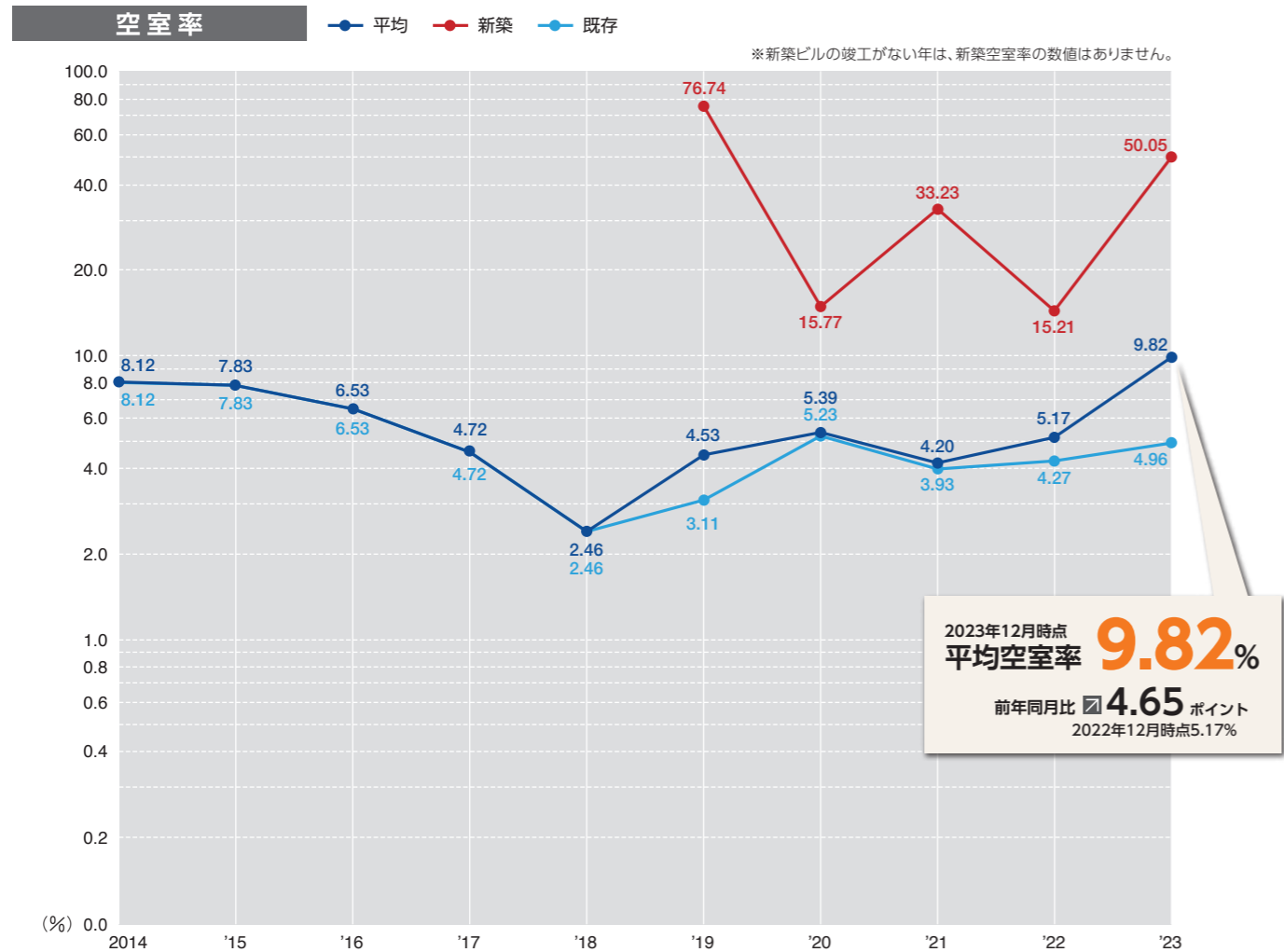
空室のあるビル比率



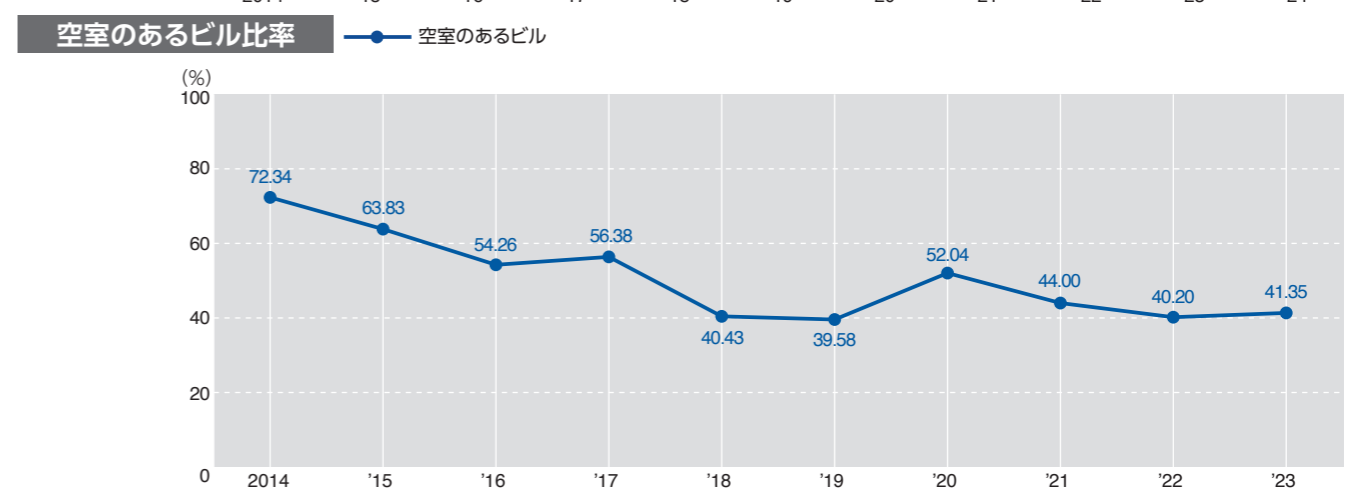
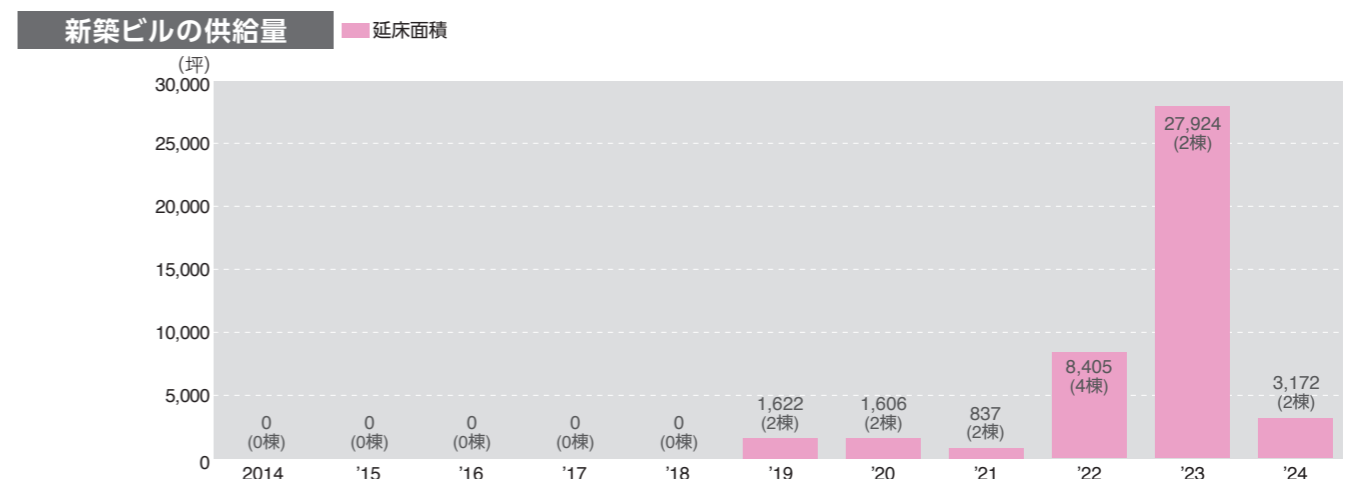
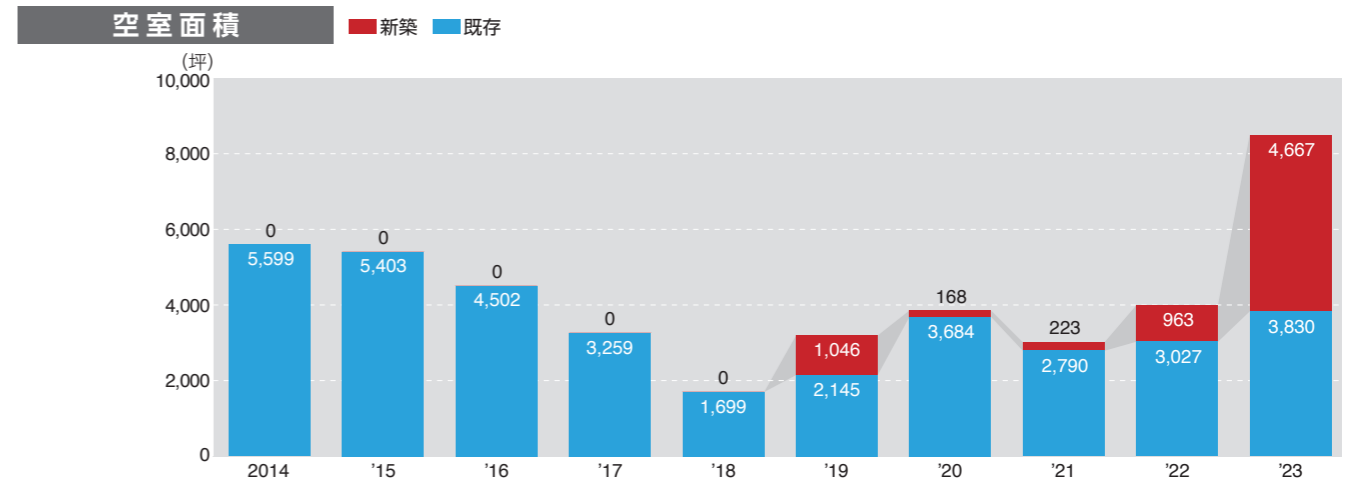
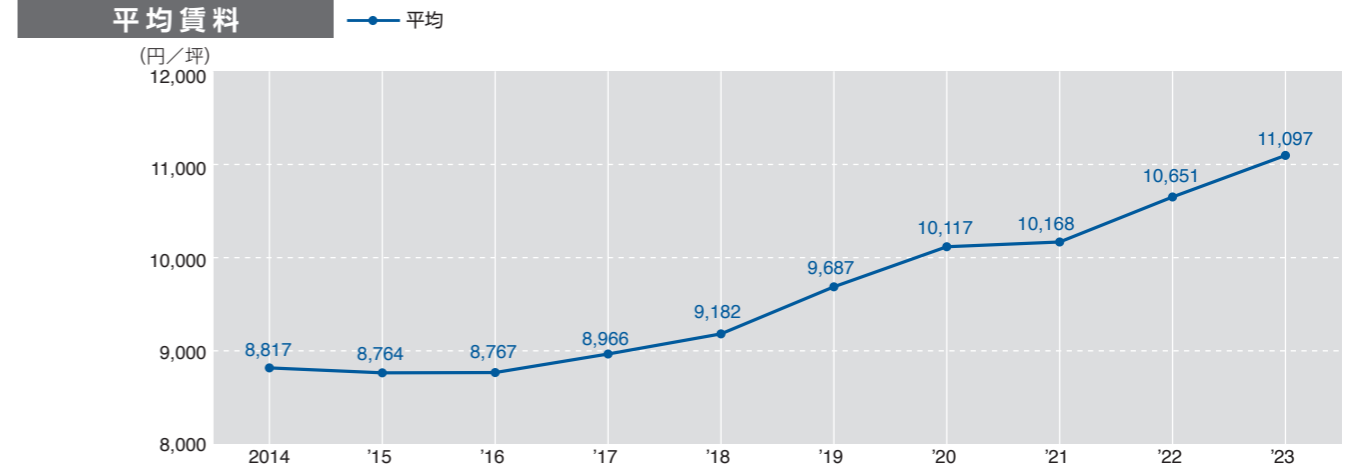
赤坂・大名地区

2023年の動向 および今後の状況

赤坂・大名地区の2023年12月時点の平均空室率は9.82%、前年同月比4.65ポイント上げました。新規供給や大型解約の影響で一時的に10%台となるなど、福岡ビジネス地区内で最も平均空室率が上昇しました。2023年の新規供給は延床面積合計27,924坪あり、竣工した2棟が募集面積を残しているため、新築ビルの空室面積は前年比約3千7百坪増加しました。既存ビルでは館内増床や他地区からの移転などの成約が見られたものの、集約に伴う大型解約の動きがあったことから、空室面積がこの1年間で約8百坪増加しました。12月時点の平均賃料は11,097円、前年同月比4.19% (446円) 上げました。新規供給の影響は賃料相場にも見られ、2023年は福岡ビジネス地区内で最も平均賃料が上昇しました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比15.43ポイント上げて20.99%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比0.94ポイント上げて2.21%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比2.01ポイント下げて7.29%となりました。2024年の新規供給は延床面積合計3,172坪あり、1月に2棟が竣工します。2023年に比べて供給量(延床面積)が約2万5千坪減少することから、2024年は新規供給の市況への影響は少ないと思われます。大規模ビルの成約が徐々に進んでいるため、今後の空室率の改善が期待されます。(T.Y)



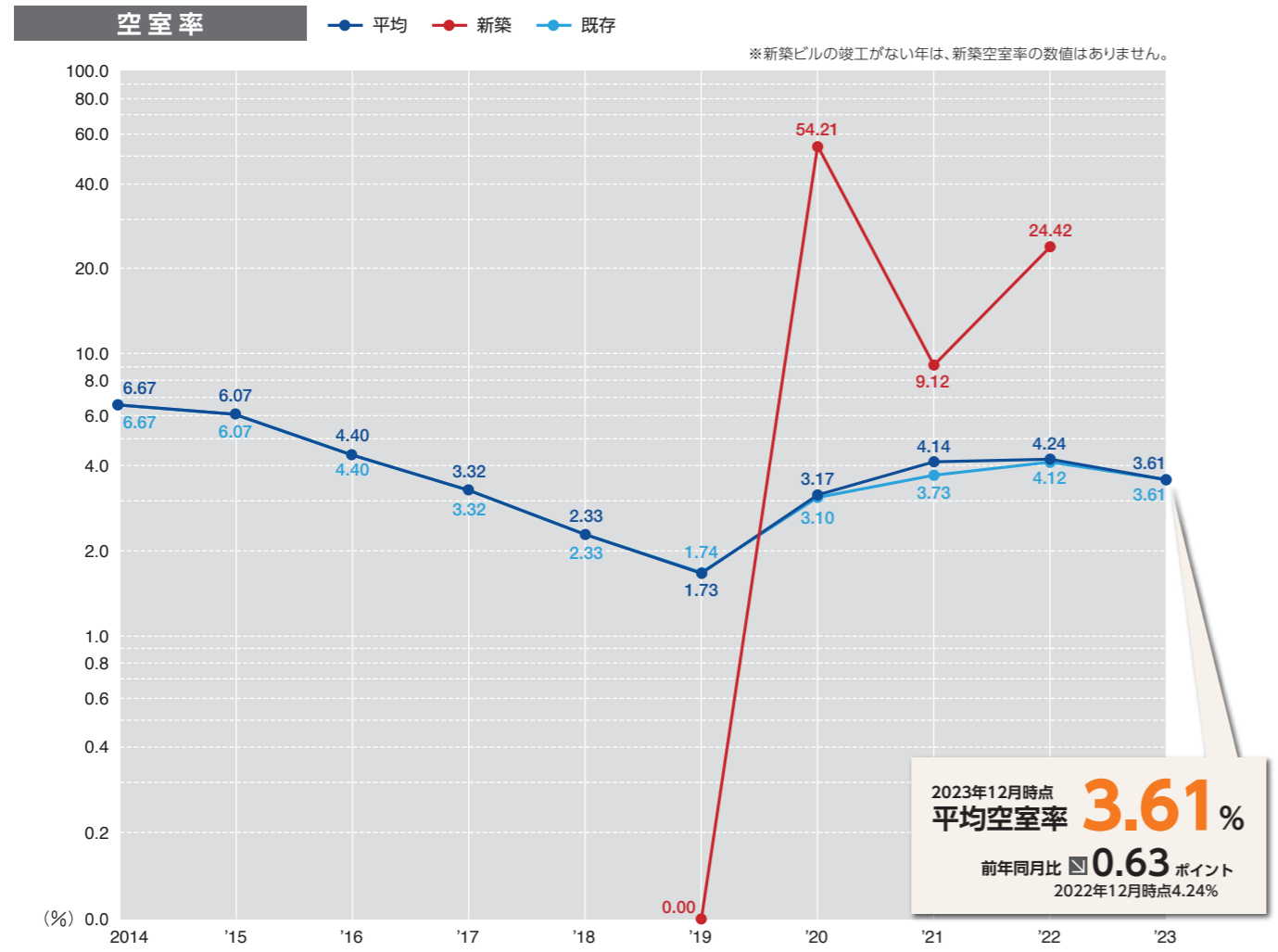
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	93,194	93,194	93,194	93,242	93,242	94,864	96,479	97,062	104,346	132,270
貸室面積(坪)	68,965	68,965	68,965	69,070	69,070	70,433	71,472	71,739	77,183	86,508
空室面積(坪)	5,599	5,403	4,502	3,259	1,699	3,191	3,852	3,013	3,990	8,497
空室率/平均(%)	8.12	7.83	6.53	4.72	2.46	4.53	5.39	4.20	5.17	9.82
空室のあるビル比率(%)	72.34	63.83	54.26	56.38	40.43	39.58	52.04	44.00	40.20	41.35



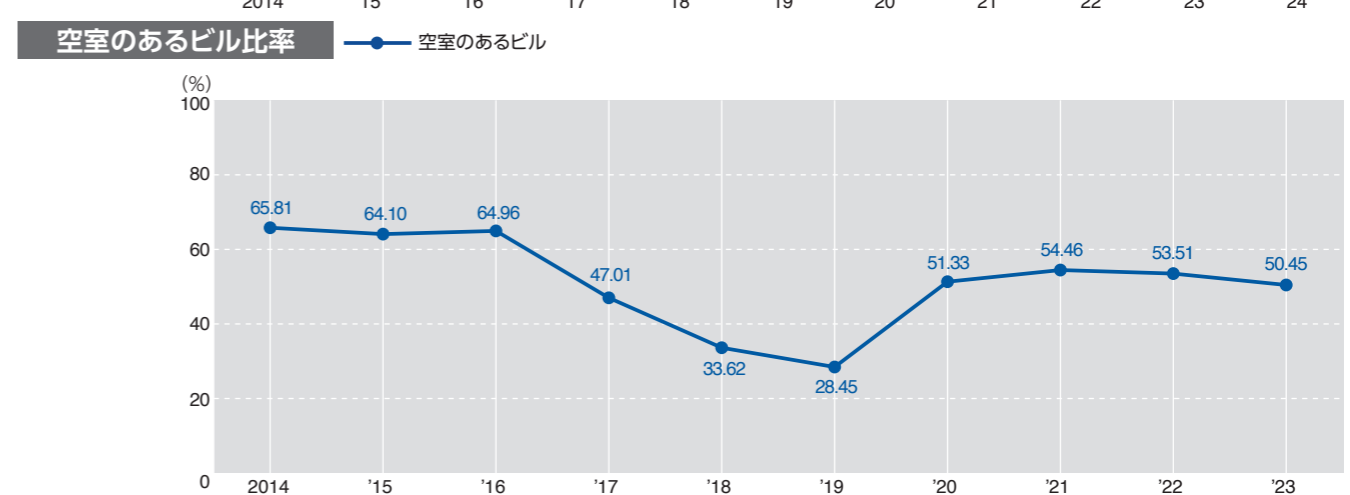
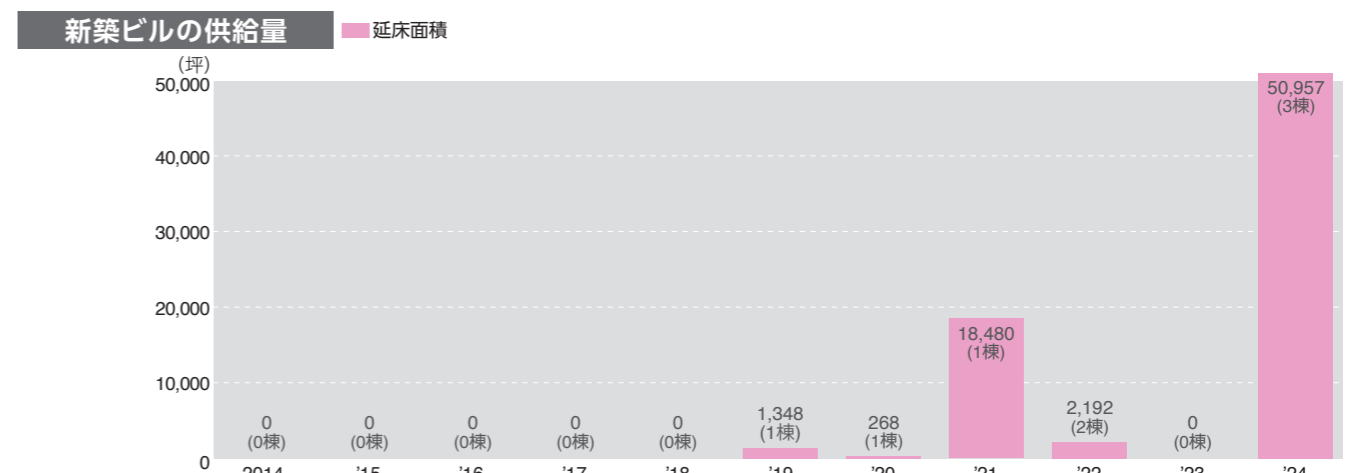
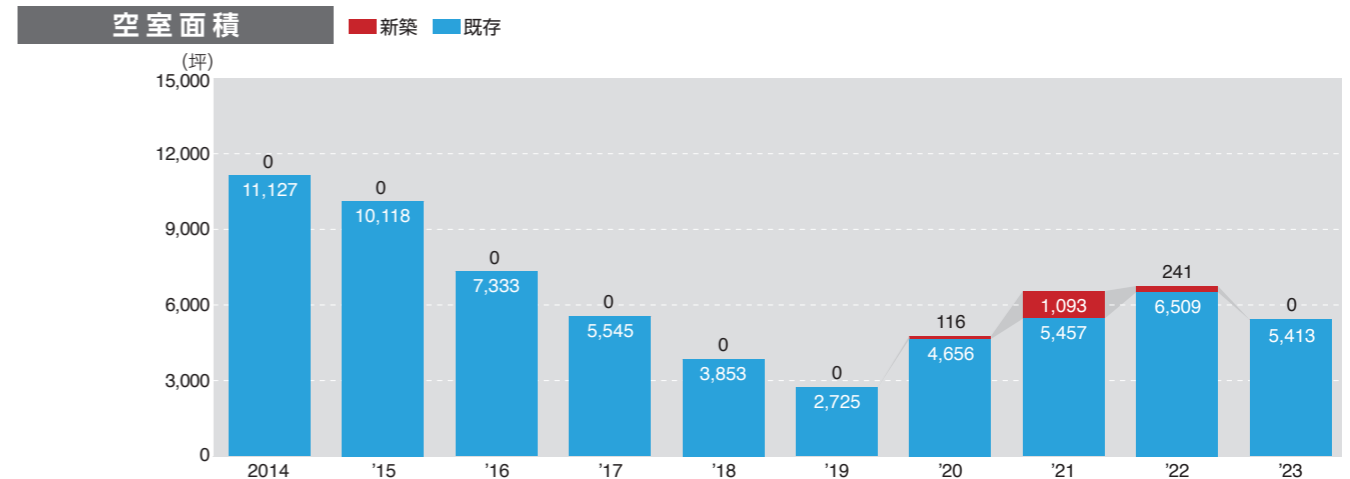
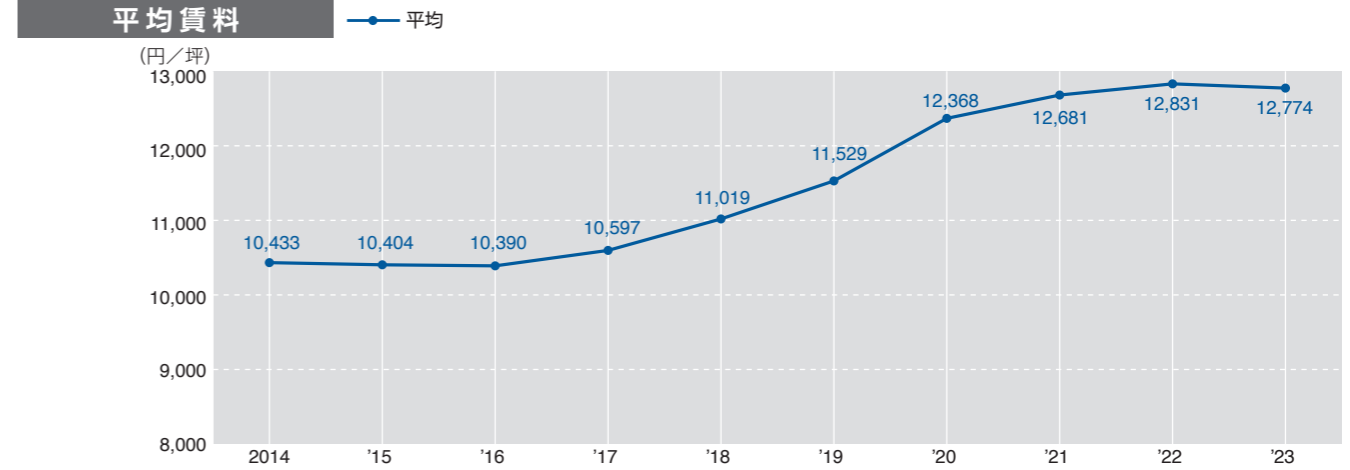
天神地区

2023年の動向 および今後の状況

天神地区の2023年12月時点の平均空室率は3.61%、前年同月比0.63ポイント下げました。2023年は大型テナントの動きが少なく、平均空室率は小幅な変動で推移しました。主な成約は館内増床や他地区からの移転に伴う中小規模の動きが中心となったものの、解約の影響も少なかったことから、天神地区の空室面積はこの1年間で約1千3百坪減少しました。平均賃料は福岡ビジネス地区内で唯一、低下傾向で推移したため、12月時点では前年同月比0.44%(57円)下げて12,774円となりました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比0.66ポイント下げて2.95%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比0.64ポイント下げて4.78%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比0.78ポイント下げて4.05%となり、2023年はすべての規模で空室率が低下しました。2024年は延床面積合計50,957坪(3棟)の新規供給を予定しています。6月に「AUSPICE福岡天神(延床面積647坪)」、12月に「仮称ノワンフクオカビルディング(同44,000坪)」と、「ヒューリック福岡ビル建替計画(同6,310坪)」が竣工予定です。福岡ビジネス地区内の2024年の新規供給予定の中で最大規模のビルの竣工があるため、今後の募集動向が注目されます。(T.Y)



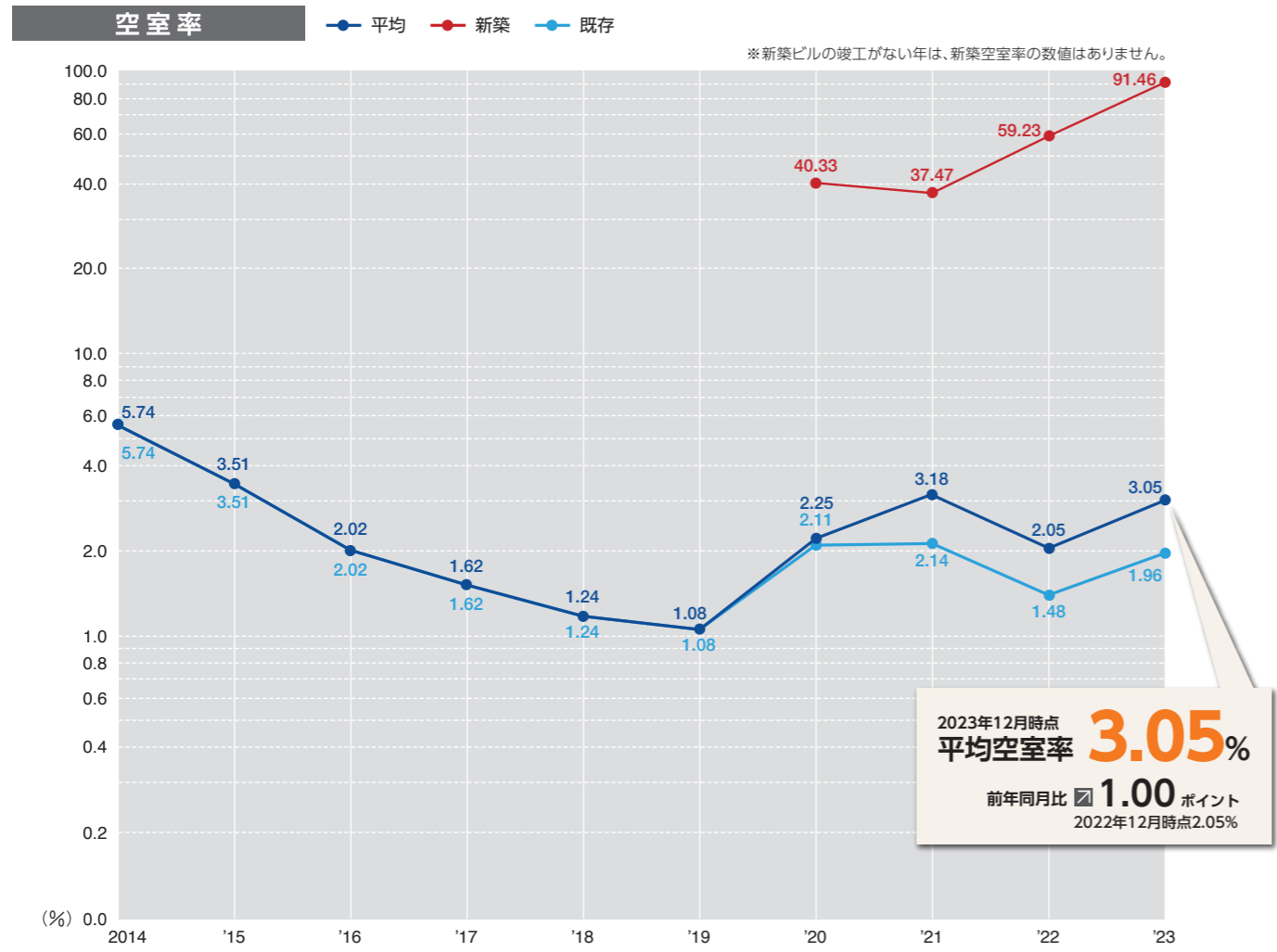
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	247,246	247,244	247,244	247,244	245,166	233,670	222,604	234,172	236,364	222,629
貸室面積(坪)	166,826	166,825	166,825	166,825	165,371	157,861	150,615	158,101	159,088	150,110
空室面積(坪)	11,127	10,118	7,333	5,545	3,853	2,725	4,772	6,550	6,750	5,413
空室率/平均(%)	6.67	6.07	4.40	3.32	2.33	1.73	3.17	4.14	4.24	3.61
空室のあるビル比率(%)	65.81	64.10	64.96	47.01	33.62	28.45	51.33	54.46	53.51	50.45



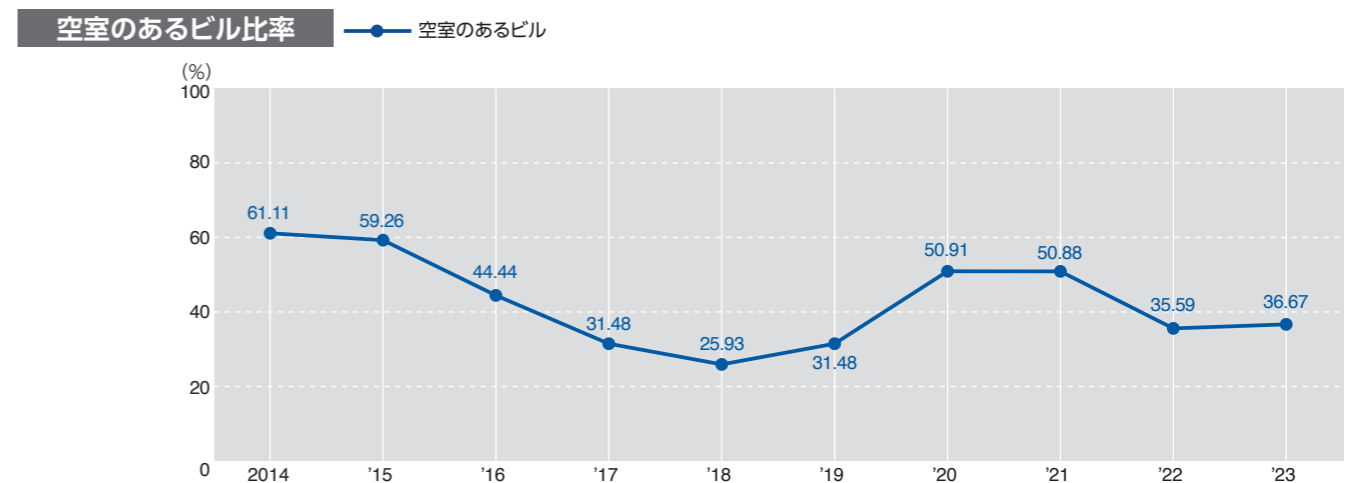
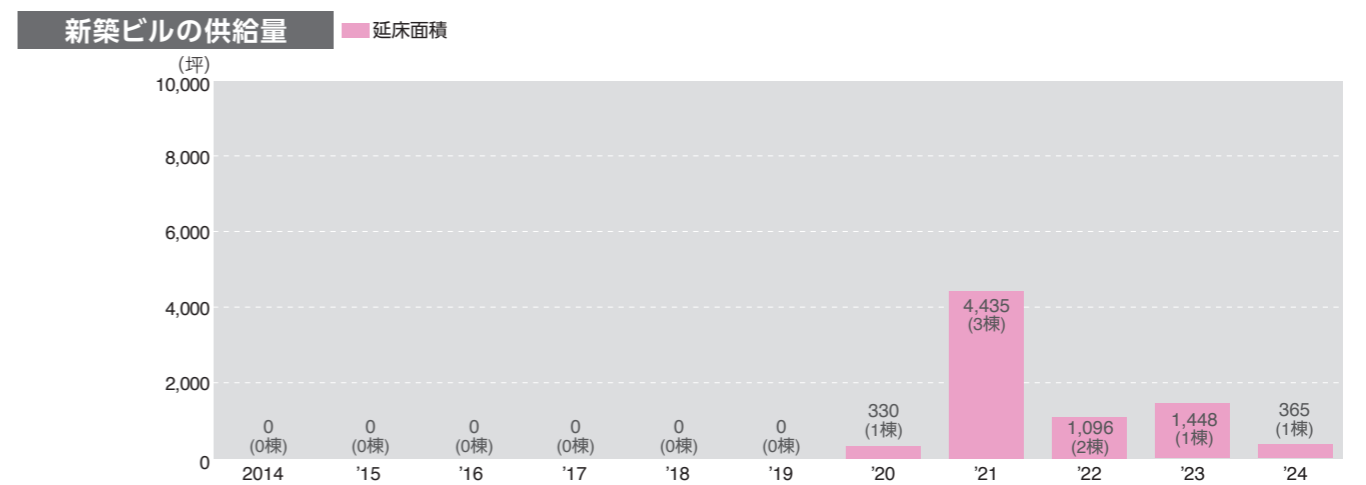
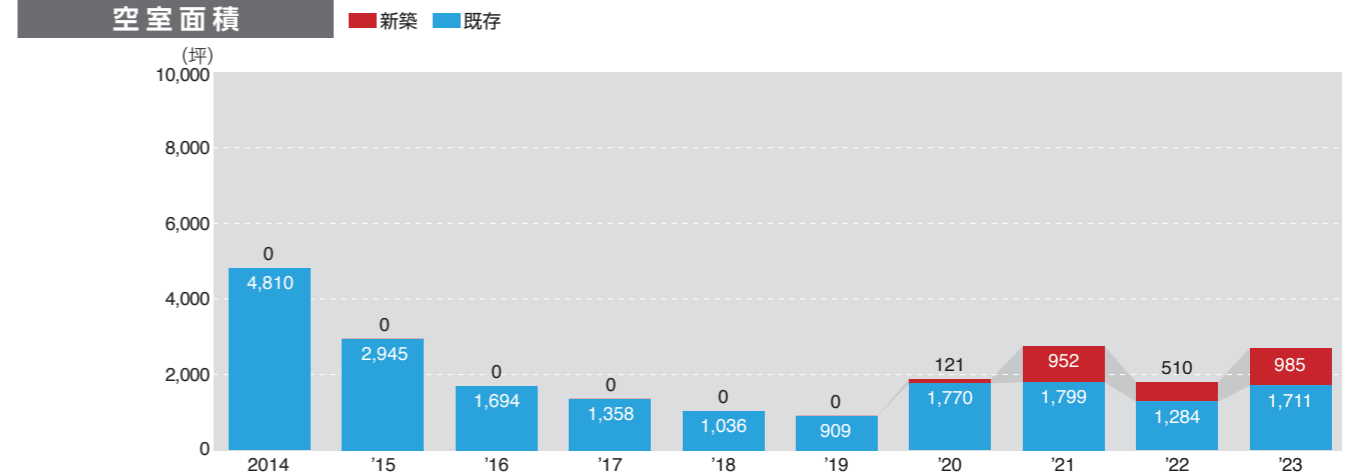
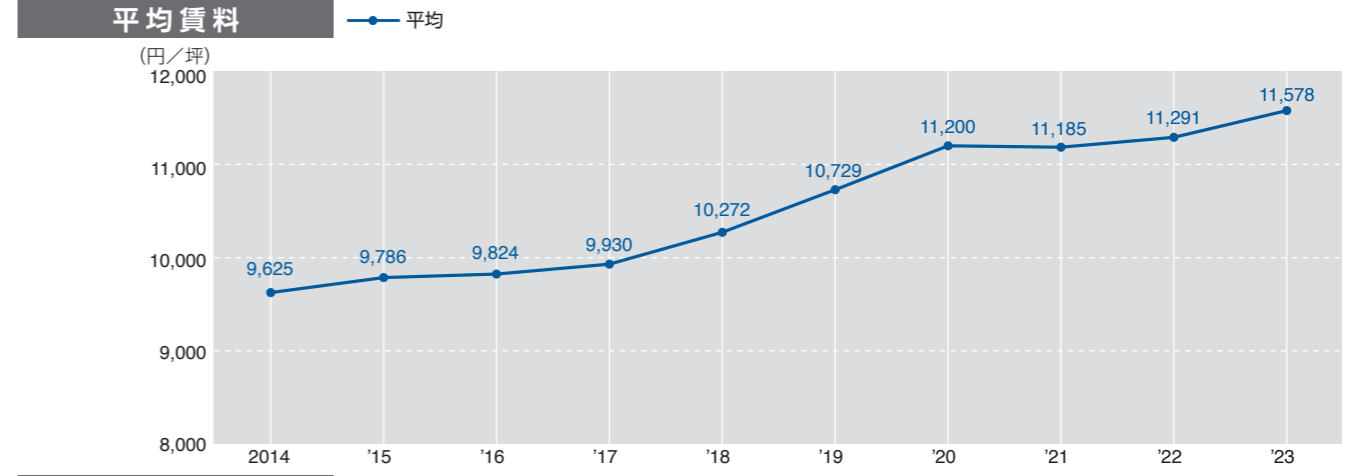
薬院・渡辺通地区

2023年の動向 および今後の状況

薬院・渡辺通地区の2023年12月時点の平均空室率は3.05%、前年同月比1.00ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積1,448坪、7月に竣工した1棟が約9割の募集面積を残しています。既存ビルは一部で分室や新規開設の動きがあったものの、成約の動きが進まない中で、館内縮小や集約に伴う解約の影響が見られたため、薬院・渡辺通地区の空室面積はこの1年間で約9百坪増加しました。12月時点の平均賃料は11,578円、前年同月比2.54%(287円)上げました。平均賃料は新築ビルの募集賃料が下支えになったこともあり、おおむね上昇傾向で推移しました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比0.15ポイント下げて0.76%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比5.20ポイント上げて7.10%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比3.28ポイント下げて3.45%となり、新規供給のあった中型ビルで空室率が上昇しました。2024年の新規供給は6月に竣工予定の「薬院PJ(延床面積365坪)」1棟のため、新規供給の影響は小さいと思われます。大型テナントの動きが少ないことから、オフィス市況は小幅な変動が続くそうです。(Y.S)



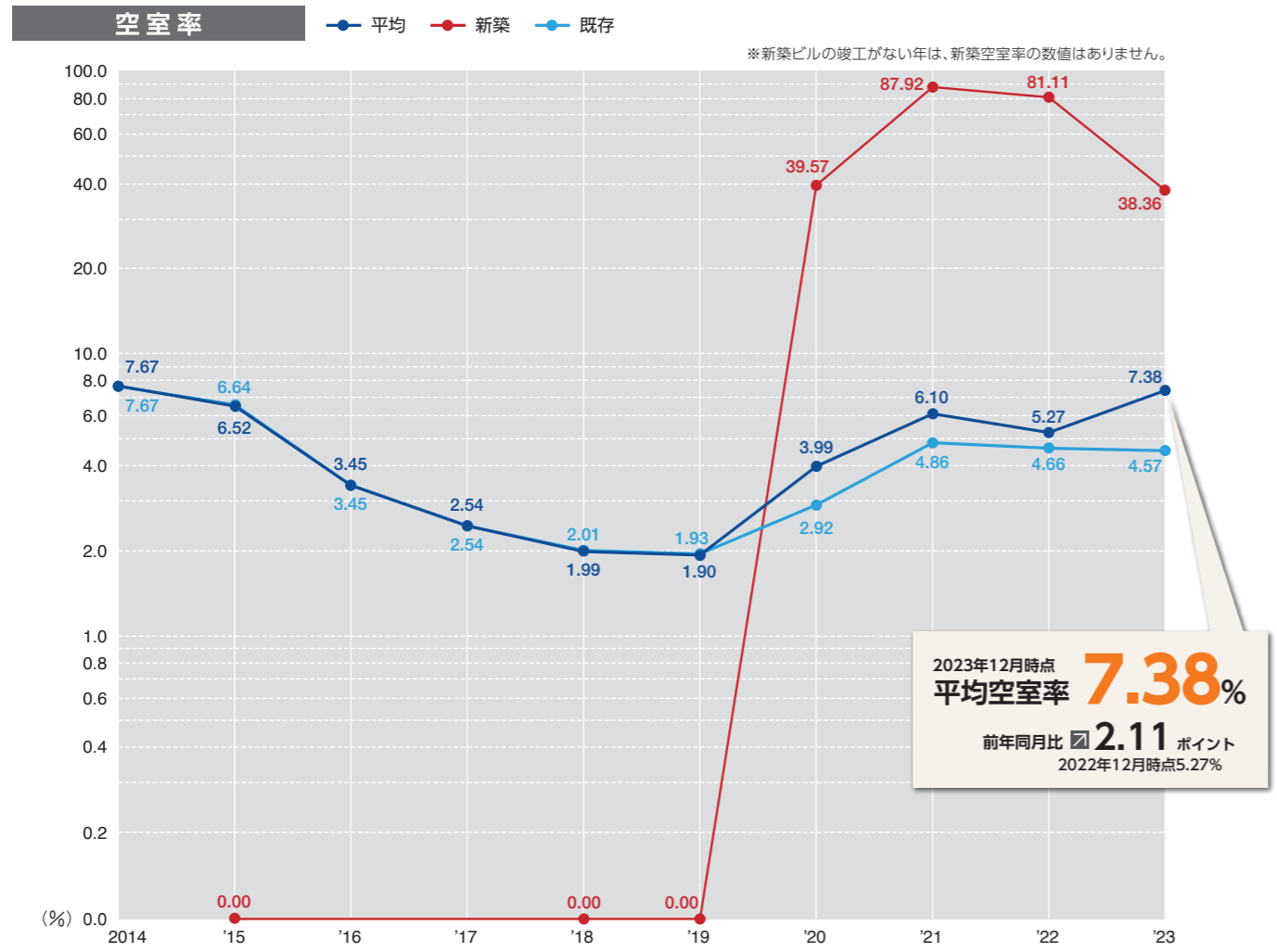
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	127,817	127,817	127,817	127,817	127,817	127,817	128,147	132,268	133,364	134,812
貸室面積(坪)	83,862	83,862	83,862	83,862	83,862	83,862	84,162	86,519	87,380	88,457
空室面積(坪)	4,810	2,945	1,694	1,358	1,036	909	1,891	2,751	1,794	2,696
空室率/平均(%)	5.74	3.51	2.02	1.62	1.24	1.08	2.25	3.18	2.05	3.05
空室のあるビル比率(%)	61.11	59.26	44.44	31.48	25.93	31.48	50.91	50.88	35.59	36.67



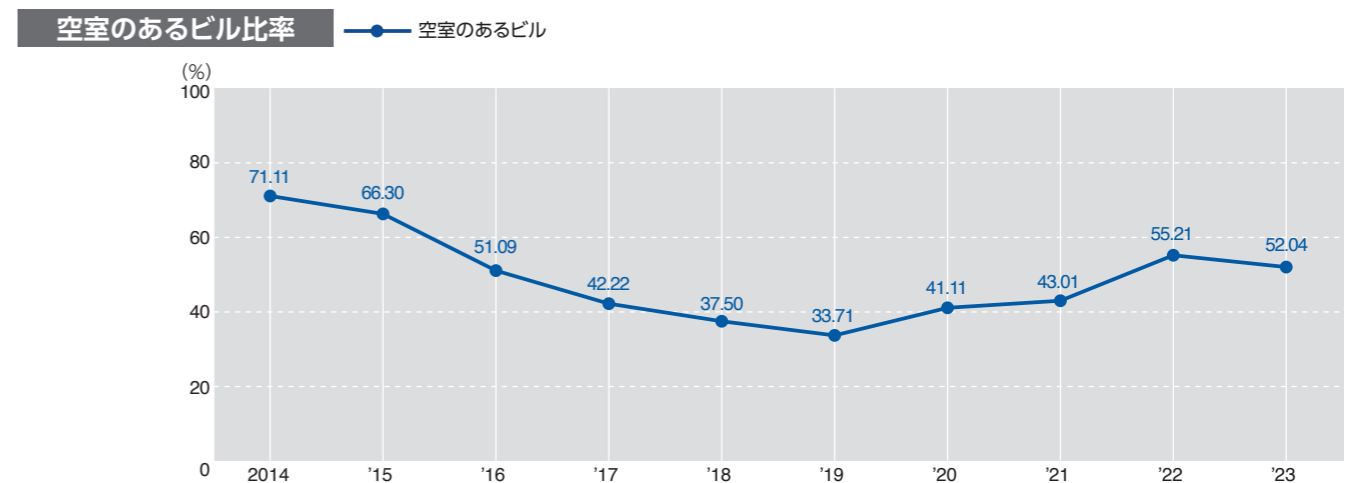
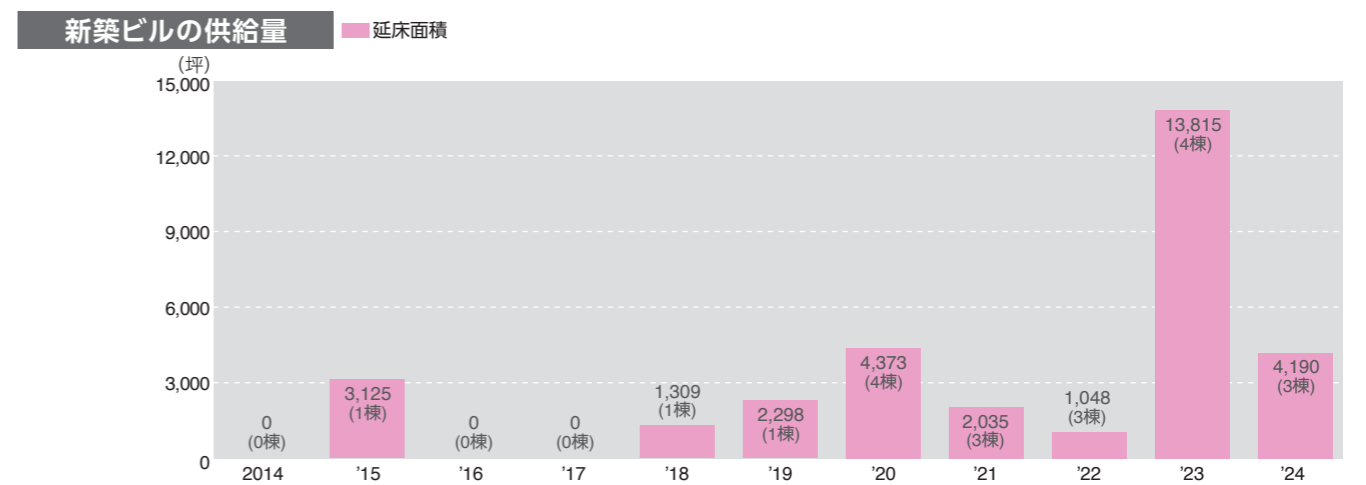
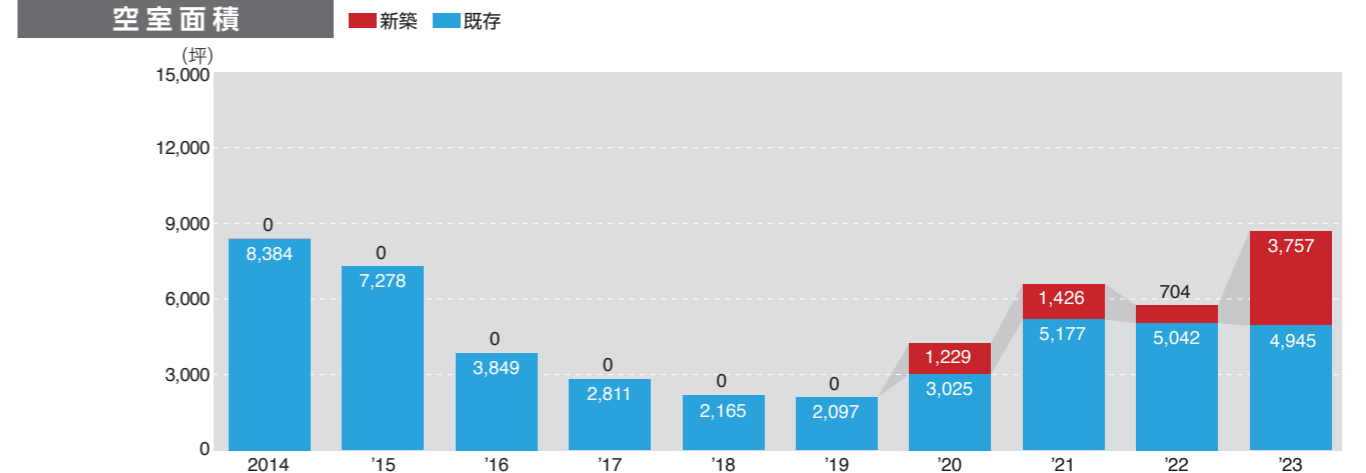
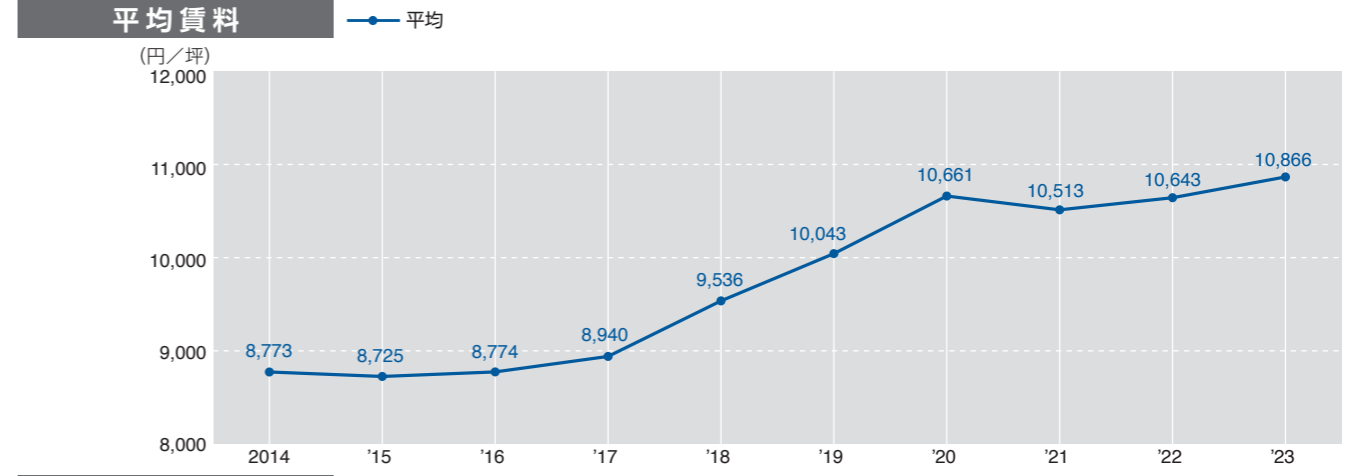
祇園・呉服町地区

2023年の動向 および今後の状況

祇園・呉服町地区の2023年12月時点の平均空室率は7.38%、前年同月比2.11ポイント上げました。2023年の新規供給は延床面積合計13,815坪(4棟)あり、2022年に比べて供給量(延床面積)が約1万3千坪増加しました。一部は満室や高稼働となっていますが、募集面積を残しているビルもあるため、新築ビルの空室面積が前年比約3千1百坪増加しました。一方、既存ビルでは二次空室や縮小に伴う解約の影響が見られたものの、他地区の建替え予定ビルからの移転や拡張移転、館内増床などの成約があったことから、この1年間で空室面積が約1百坪とわずかに減少しました。平均賃料は新築、既存ビルともに上昇傾向が見られたため、12月時点では前年同月比2.10%(223円)上げて10,866円となりました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比4.69ポイント上げて7.64%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比0.29ポイント上げて3.52%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比0.86ポイント下げて13.39%となりました。2024年の新規供給は延床面積合計4,190坪、3棟が竣工予定です。2023年と比べて棟数は1棟、供給量は約1万坪減少するため、新規供給の影響は少ないと思われます。2023年に竣工した大型ビルで成約に向けた動きが進んでいることもあり、今後の空室率の改善が期待されます。(N.N)



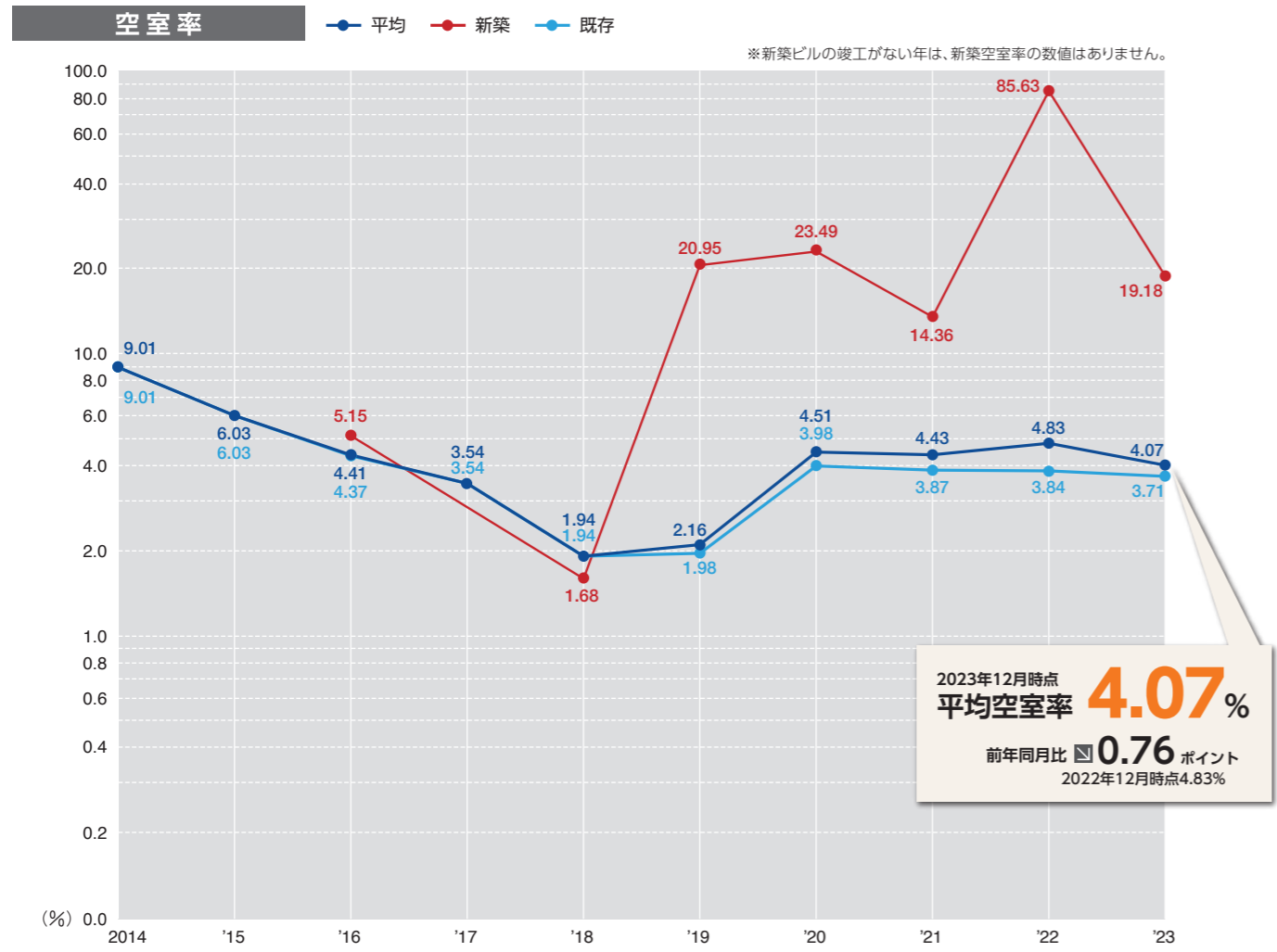
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	156,852	160,484	160,484	158,903	155,854	158,305	152,612	154,647	155,695	168,322
貸室面積(坪)	109,343	111,598	111,598	110,571	108,539	110,112	106,544	108,163	109,031	117,901
空室面積(坪)	8,384	7,278	3,849	2,811	2,165	2,097	4,254	6,603	5,746	8,702
空室率/平均(%)	7.67	6.52	3.45	2.54	1.99	1.90	3.99	6.10	5.27	7.38
空室のあるビル比率(%)	71.11	66.30	51.09	42.22	37.50	33.71	41.11	43.01	55.21	52.04



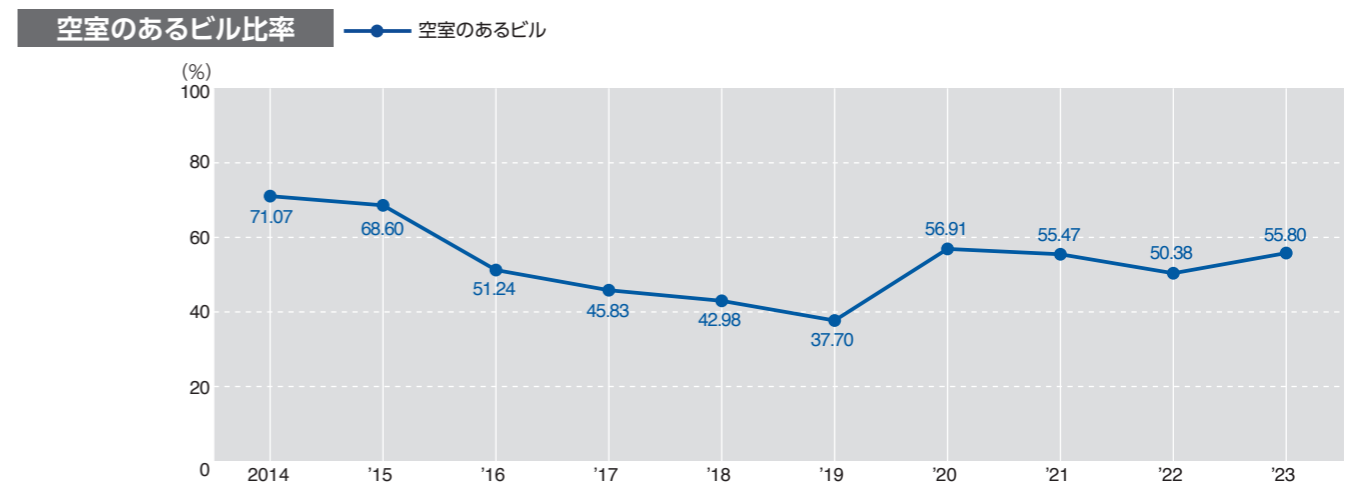
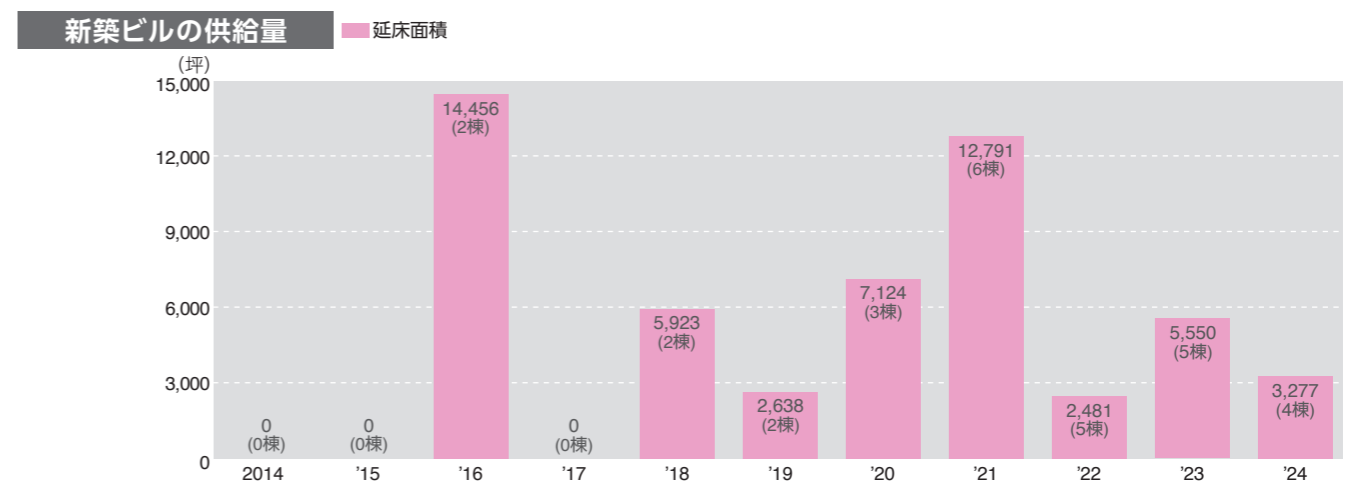
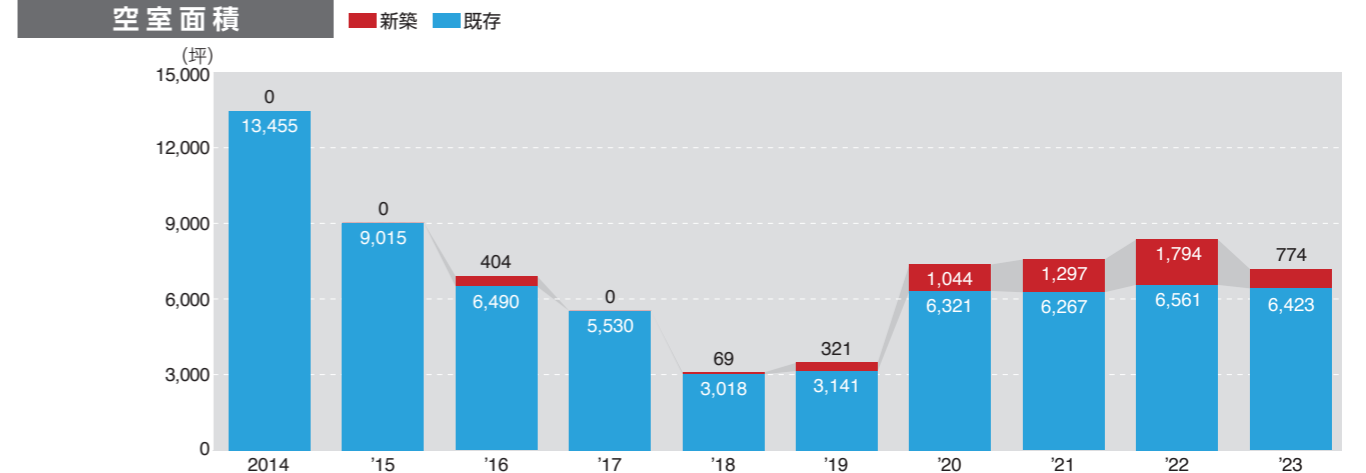
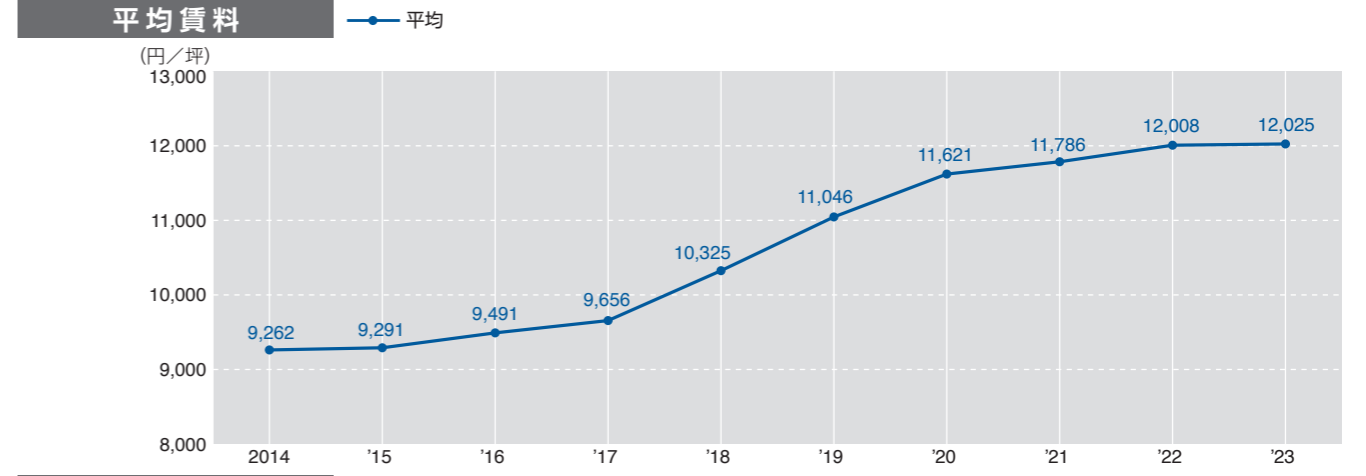
博多駅前地区

2023年の動向 および今後の状況

博多駅前地区の2023年12月時点の平均空室率は4.07%。前年同月比0.76ポイント下げて、福岡ビジネス地区内で最も平均空室率が低下しました。2023年の新規供給は延床面積合計5,550坪(5棟)あり、2022年と比べて供給量(延床面積)が約3千1百坪増加しましたが、大型ビル2棟が満室や高稼働となっているため、新築ビルの空室面積は前年比約1千坪減少しました。既存ビルでは館内縮小や集約に伴う解約の動きがあったものの、建替え予定ビルからの移転や拡張移転などの成約が見られたことから、空室面積がこの1年間で約1百坪とわずかに減少しました。12月時点の平均賃料は12,025円、前年同月比0.14%(17円)と小幅な上昇に止まりました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比1.06ポイント下げて1.72%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比0.23ポイント下げて5.49%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比0.88ポイント下げて10.02%となり、2018年以來6年ぶりにすべての規模で空室率が低下しました。2024年の新規供給は延床面積合計3,277坪、4棟が竣工を予定しています。2023年と比べて棟数は1棟、供給量は約2千3百坪減少します。竣工予定の大型ビル2棟は、地区内の建替え予定ビルからの移転などで成約が進む見込みがあるため、博多駅前地区の空室率は引き続き低い水準で推移しそうです。(M.H)



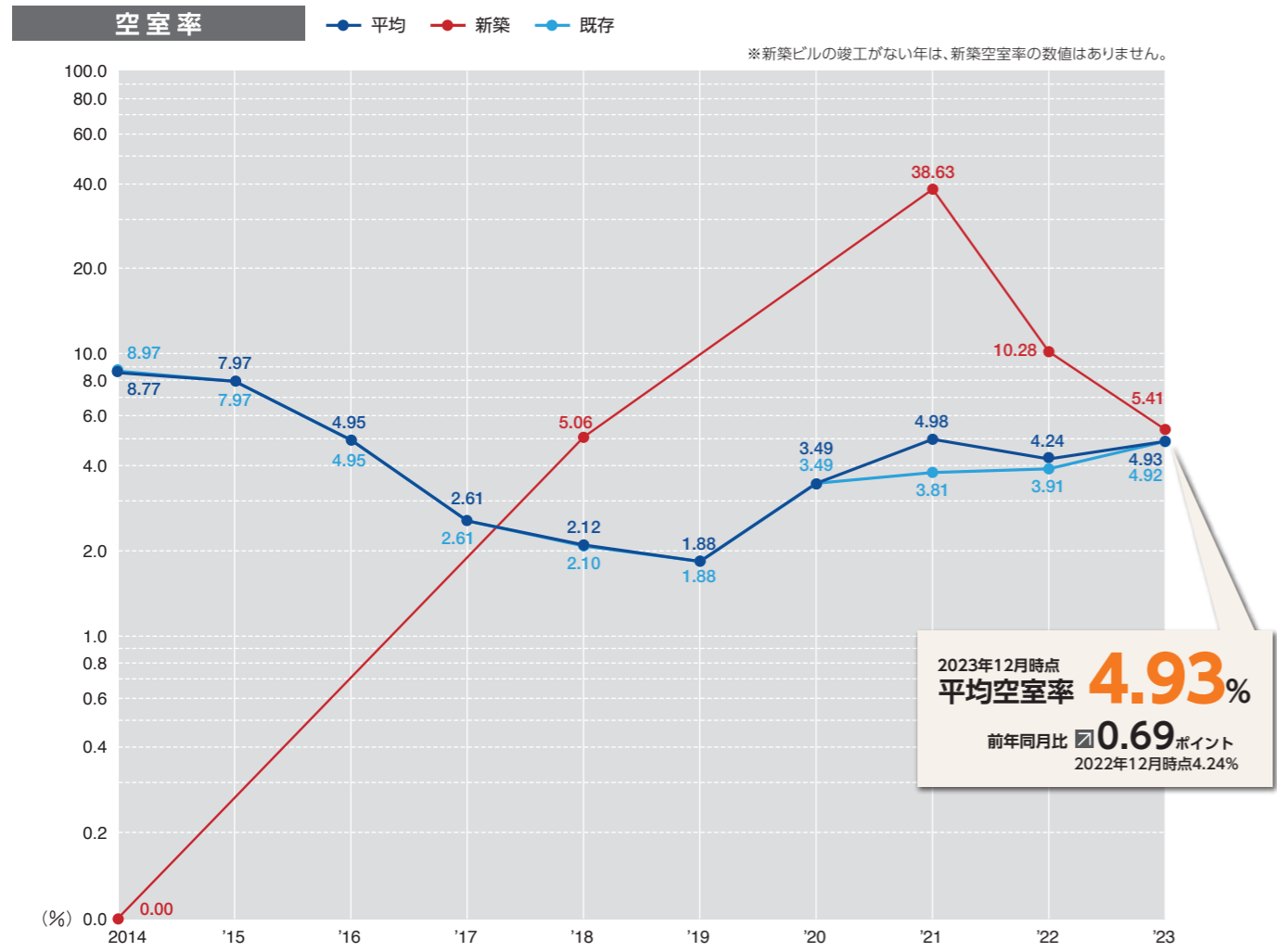
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	214,523	214,542	227,817	227,393	232,227	234,369	239,142	250,220	252,729	258,279
貸室面積(坪)	149,406	149,442	156,347	156,008	159,308	160,452	163,133	170,884	172,979	177,014
空室面積(坪)	13,455	9,015	6,894	5,530	3,087	3,462	7,365	7,564	8,355	7,197
空室率/平均(%)	9.01	6.03	4.41	3.54	1.94	2.16	4.51	4.43	4.83	4.07
空室のあるビル比率(%)	71.07	68.60	51.24	45.83	42.98	37.70	56.91	55.47	50.38	55.80



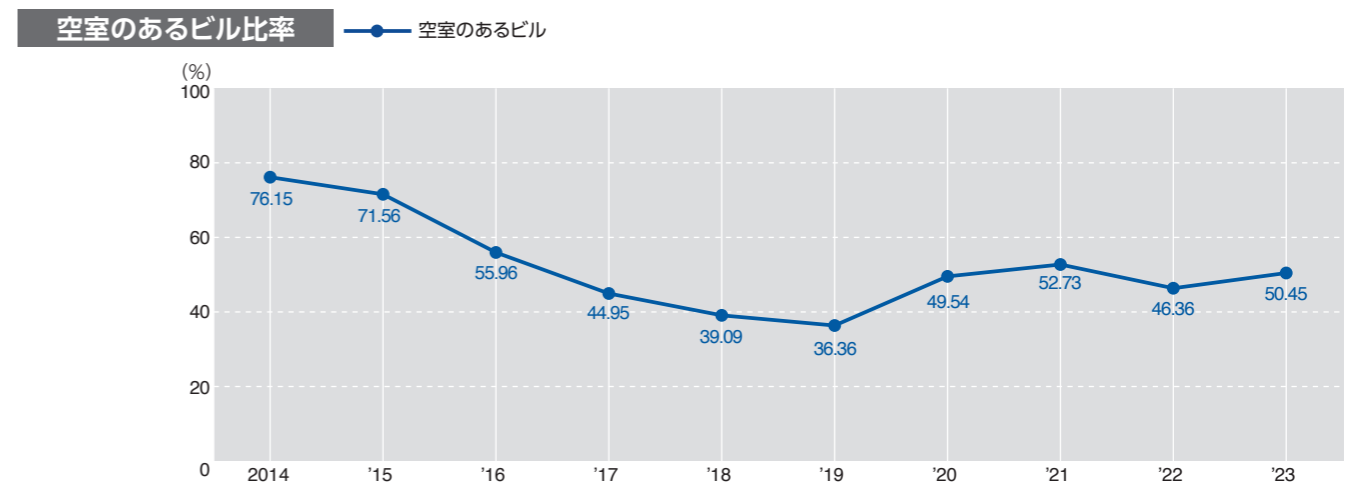
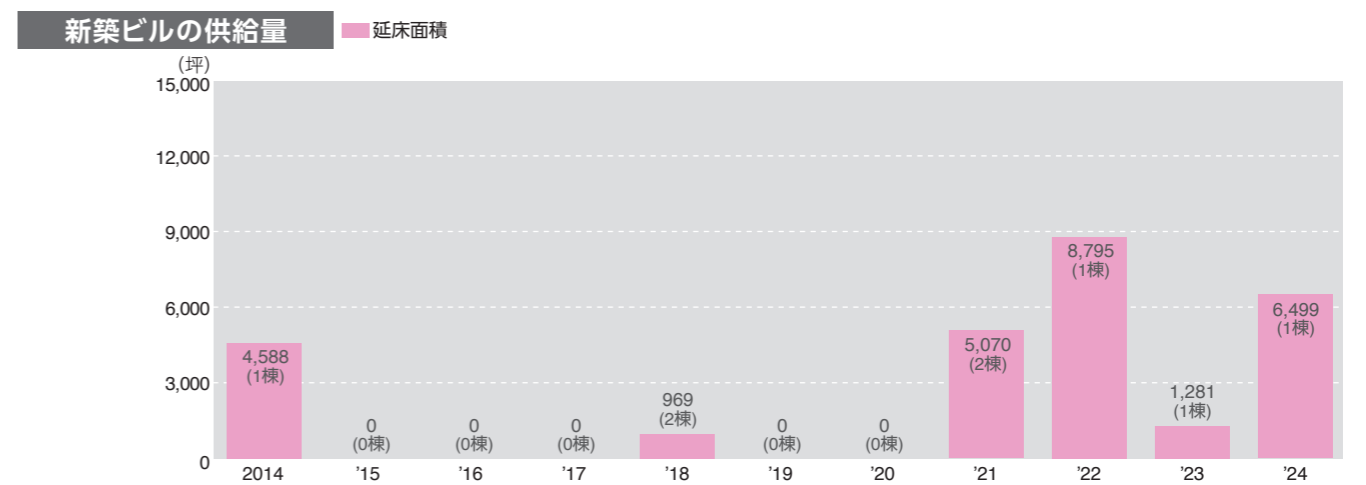
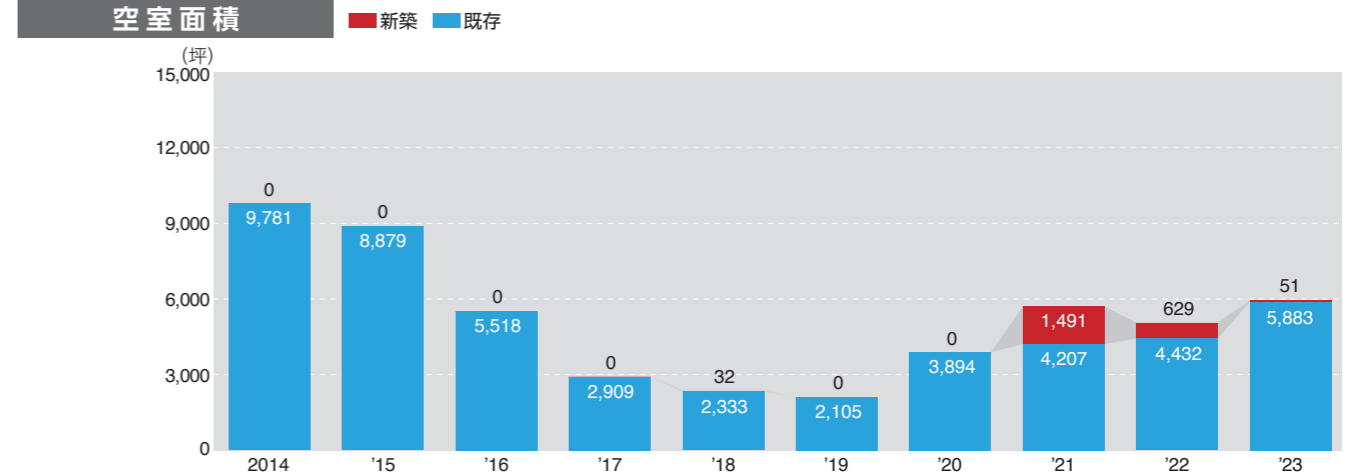
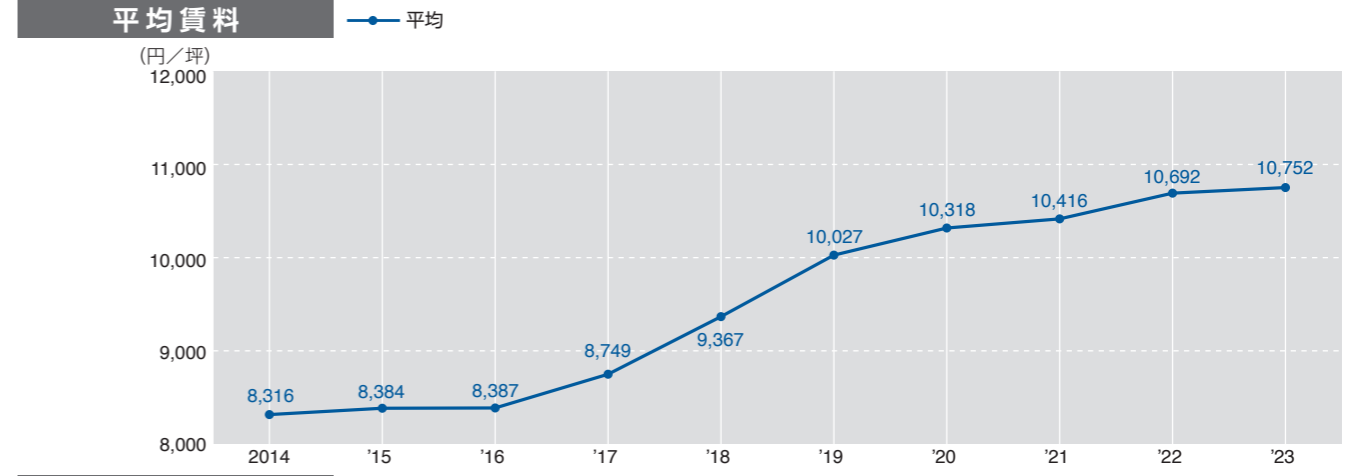
博多駅東・駅南地区

2023年の動向 および今後の状況

博多駅東・駅南地区の2023年12月時点の平均空室率は4.93%、前年同月比0.69ポイント上げました。2023年の新規供給は1棟あり、10月に「新比恵ビル(延床面積1,281坪)」が高稼働で竣工しましたが、既存ビルで自社ビルや郊外への移転のほか、集約や撤退に伴う解約の動きがあったため、博多駅東・駅南地区の空室面積はこの1年間で約9百坪増加しました。平均賃料は小幅な低下も見られたため、12月時点では10,752円と前年同月比0.56%(60円)の上昇に止まりました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比0.63ポイント下げて2.79%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比0.95ポイント上げて6.12%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比2.11ポイント上げて5.32%となりました。2024年の新規供給は3月に竣工を予定している「コネクスクエア博多(延床面積6,499坪)」1棟の予定です。同ビルへの引き合いは多く見られることから、新規供給による市況への影響は小規模に止まり、博多駅東・駅南地区の平均空室率はおおむね低下傾向で推移しそうです。(Y.S)



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	157,383	157,044	157,035	157,035	157,520	157,520	157,086	160,932	168,363	169,644
貸室面積(坪)	111,591	111,447	111,446	111,446	111,691	111,691	111,448	114,390	119,485	120,428
空室面積(坪)	9,781	8,879	5,518	2,909	2,365	2,105	3,894	5,698	5,061	5,934
空室率/平均(%)	8.77	7.97	4.95	2.61	2.12	1.88	3.49	4.98	4.24	4.93
空室のあるビル比率(%)	76.15	71.56	55.96	44.95	39.09	36.36	49.54	52.73	46.36	50.45

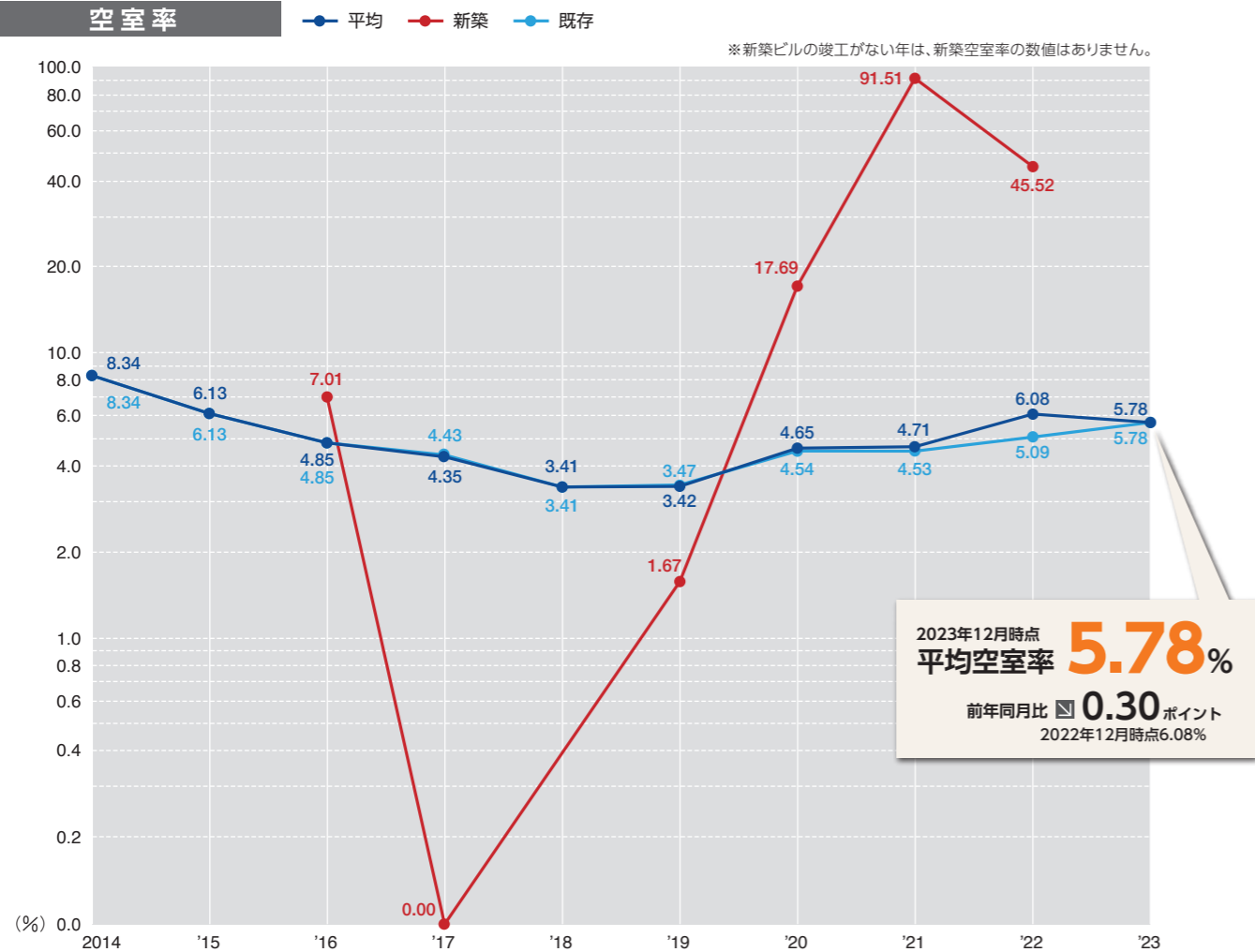


広島市

2023年の動向 および今後の状況

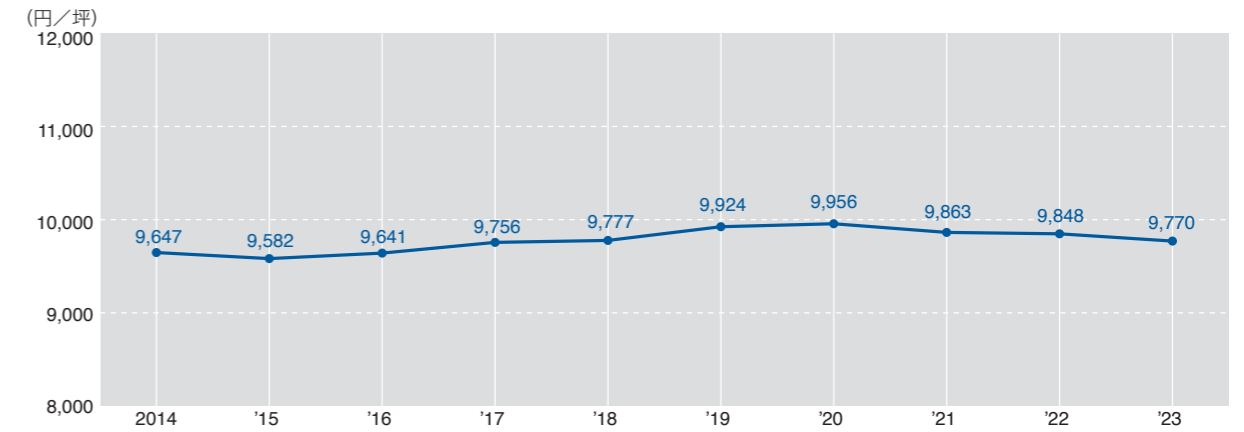
広島市(ビジネス地区)の2023年12月時点の平均空室率は5.78%。前年同月比0.30ポイント下げて、2022年7月以来の5%台に低下しました。2023年は自社ビルへの移転や縮小に伴う大型解約の動きがあったものの、築年数の浅い大規模ビルに成約が進んだことや、その他の既存ビルにも拡張移転や館内増床、分室の開設などによる成約が見られたことから、広島市(ビジネス地区)の空室面積はこの1年間で約8百坪減少しました。一方、平均賃料は弱含みで推移したため、12月時点では前年同月比0.79%(78円)下げて9,770円となりました。12月時点の規模別の平均空室率を見ると、大型ビル(延床面積3千坪以上)は前年同月比0.85ポイント下げて4.92%、中型ビル(同1千坪以上3千坪未満)は前年同月比1.13ポイント上げて7.10%、小型ビル(同1百坪以上1千坪未満)は前年同月比2.81ポイント下げて6.88%となりました。広島市(ビジネス地区)は2024年は新規供給の予定がありません。解約の動きはやや減少傾向が見られますが、オフィス需要が伸びていないため、空室が長期化しているビルが多く、賃料相場は小幅な低下傾向で推移しそうです。(M.S)

空室率

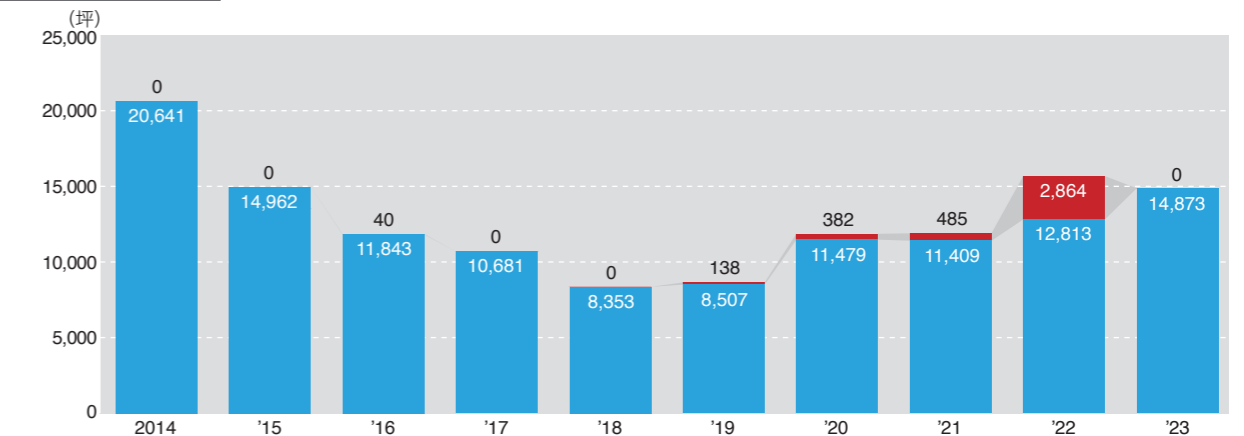


	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	402,422	398,349	426,749	429,064	427,667	446,700	450,642	446,004	458,440	457,253
貸室面積(坪)	247,472	244,016	245,007	245,708	244,689	253,139	255,051	252,346	257,940	257,265
空室面積(坪)	20,641	14,962	11,883	10,681	8,353	8,645	11,861	11,894	15,677	14,873
空室率/平均(%)	8.34	6.13	4.85	4.35	3.41	3.42	4.65	4.71	6.08	5.78
空室のあるビル比率(%)	78.47	66.43	62.94	62.41	52.14	51.05	55.56	59.72	64.58	60.14

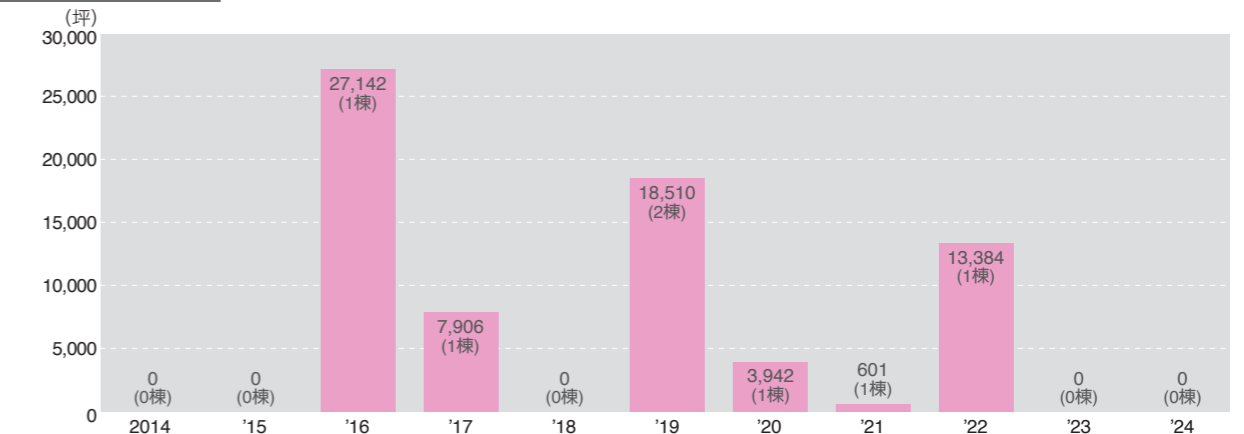
平均賃料



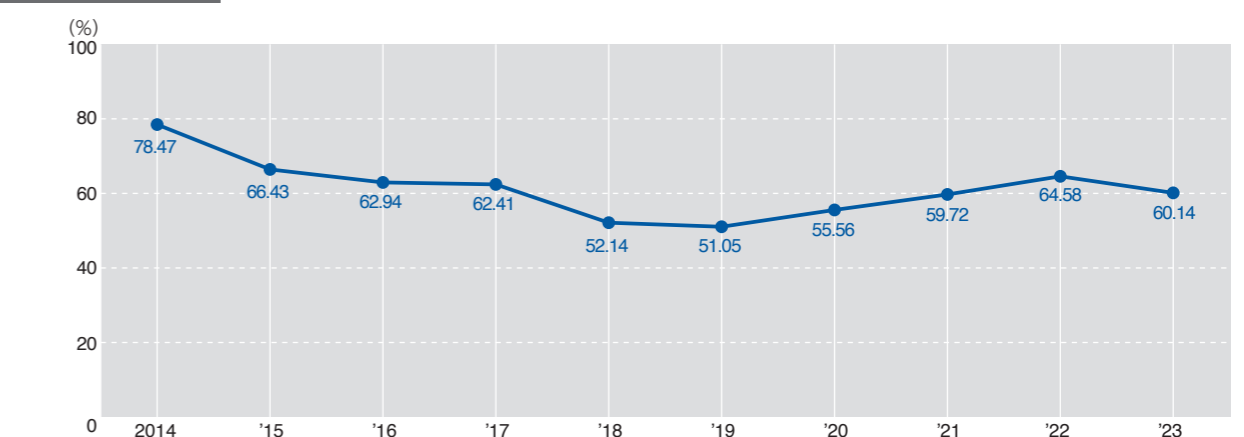
空室面積



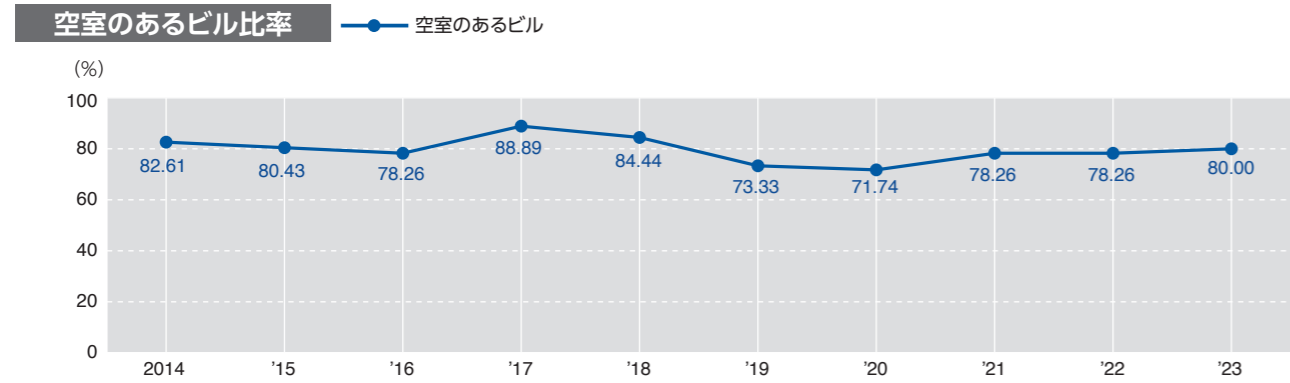
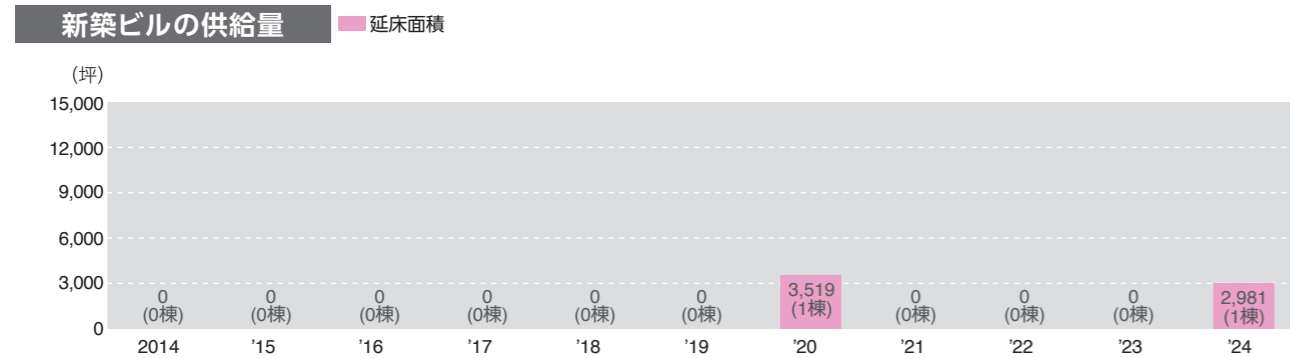
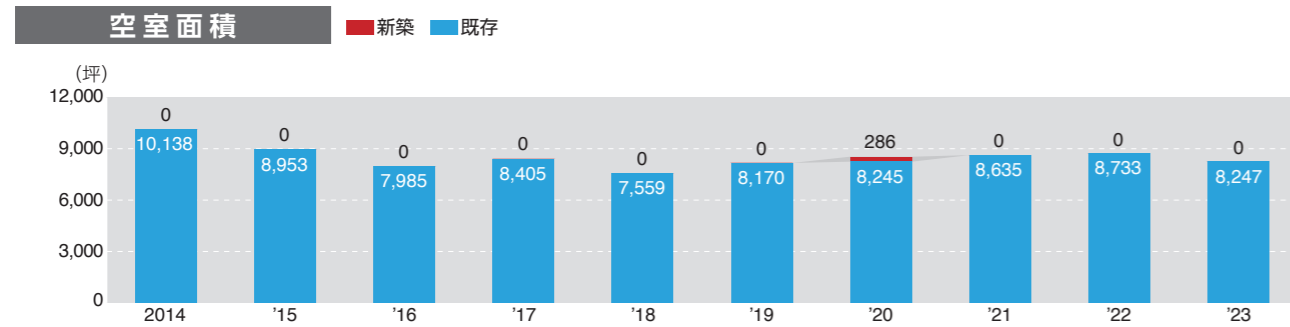
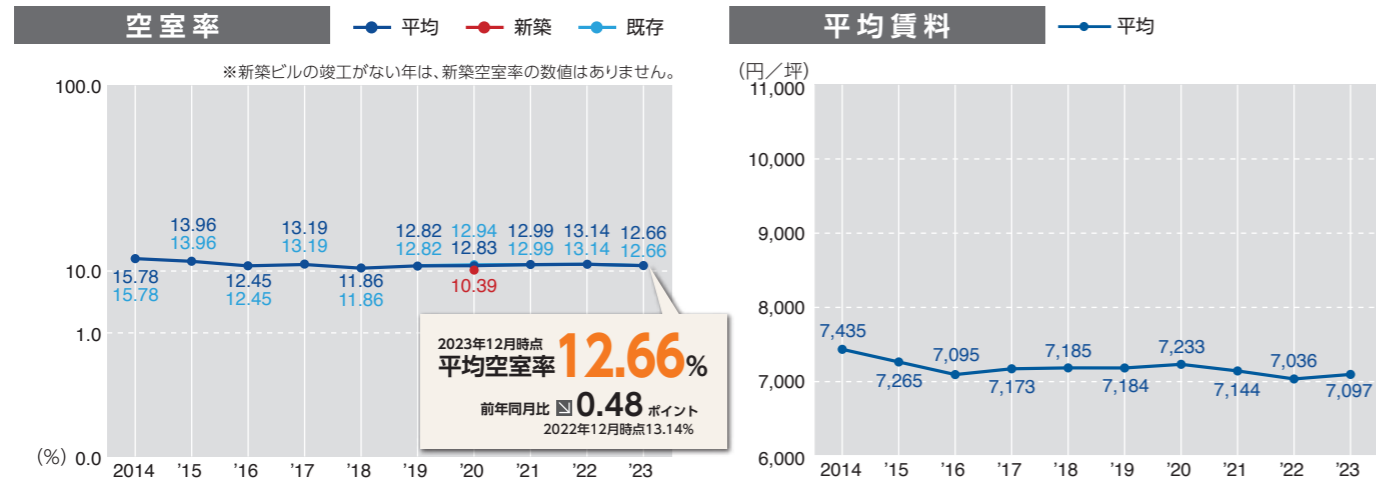
新築ビルの供給量



空室のあるビル比率

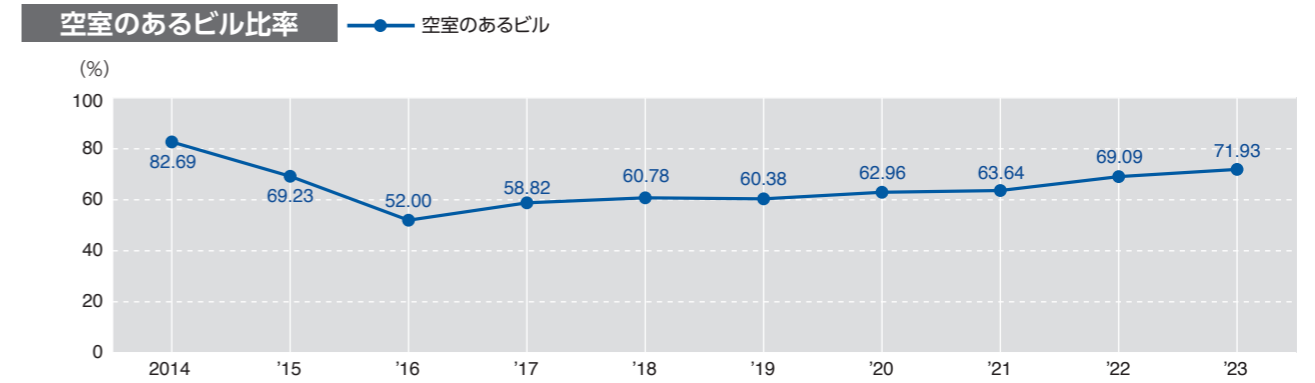
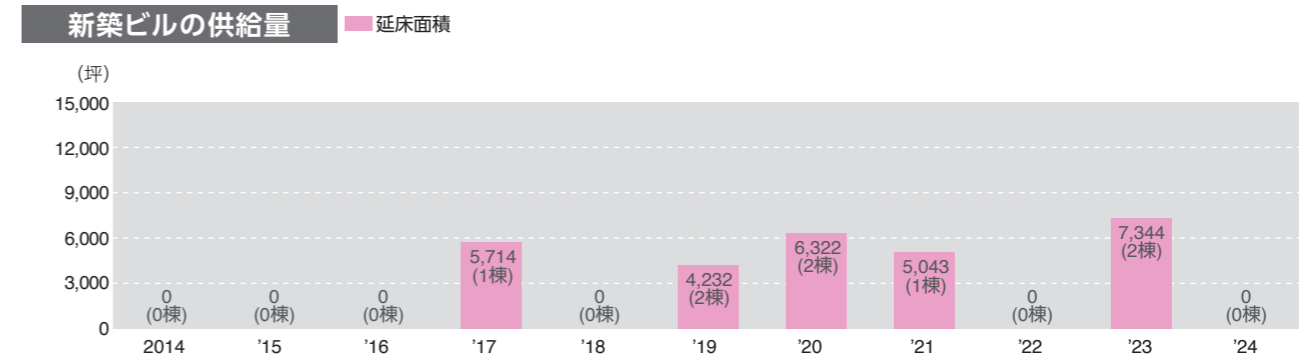
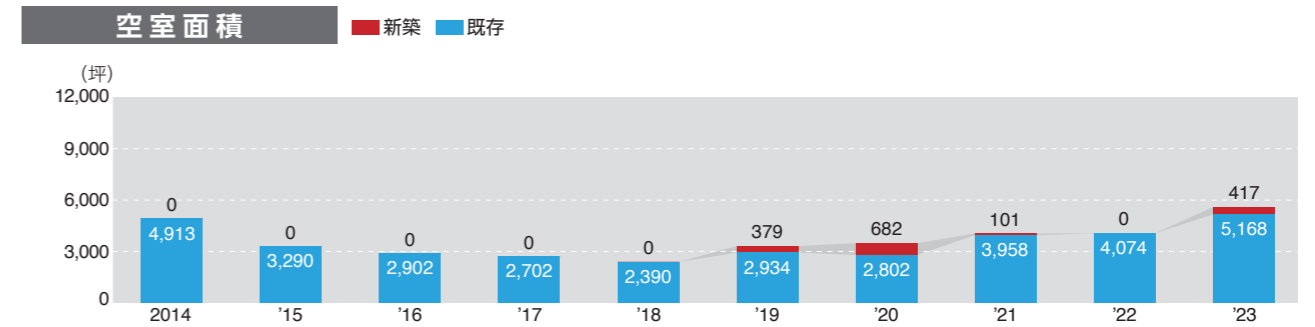
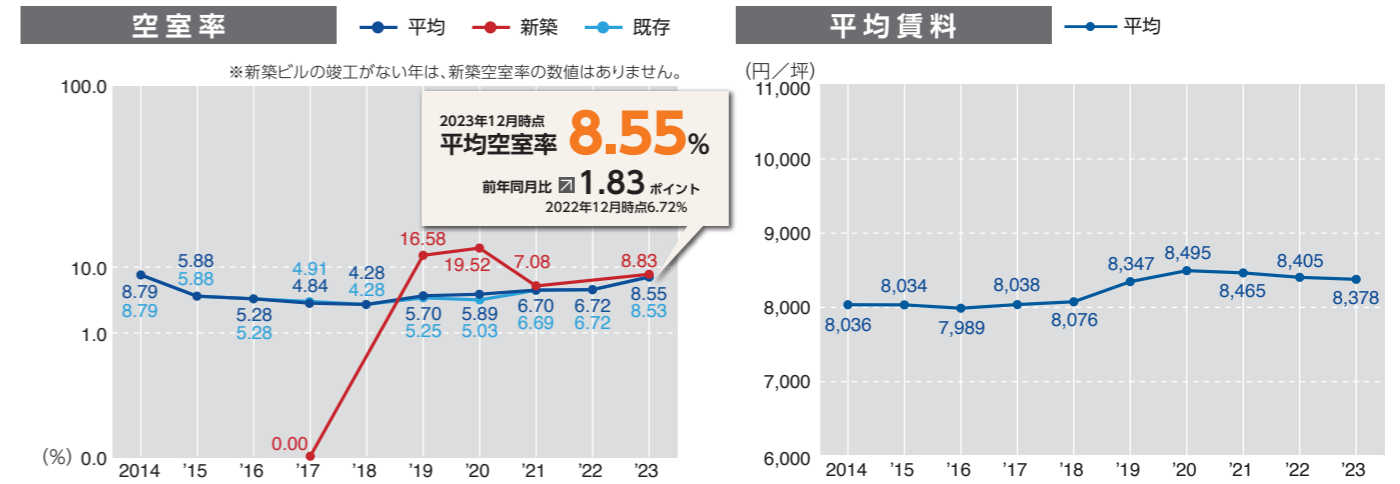


地区別データ 北九州市



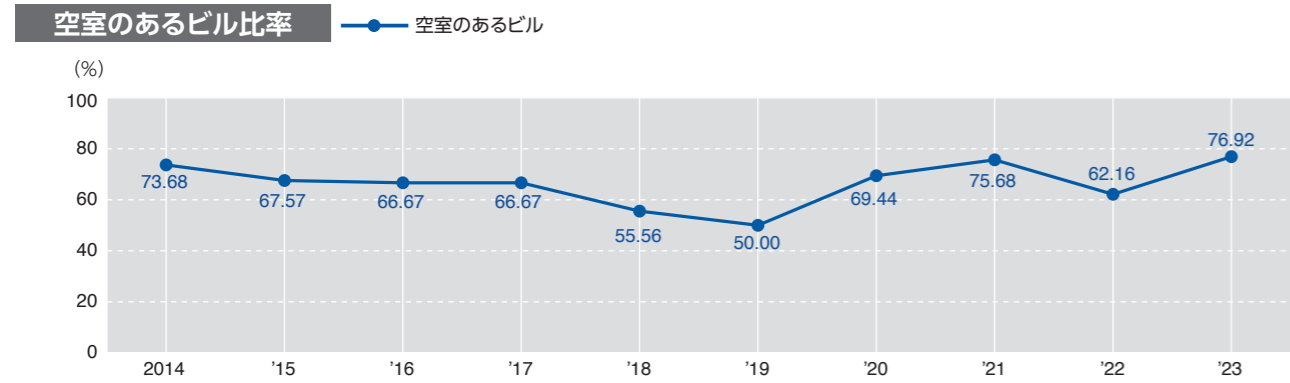
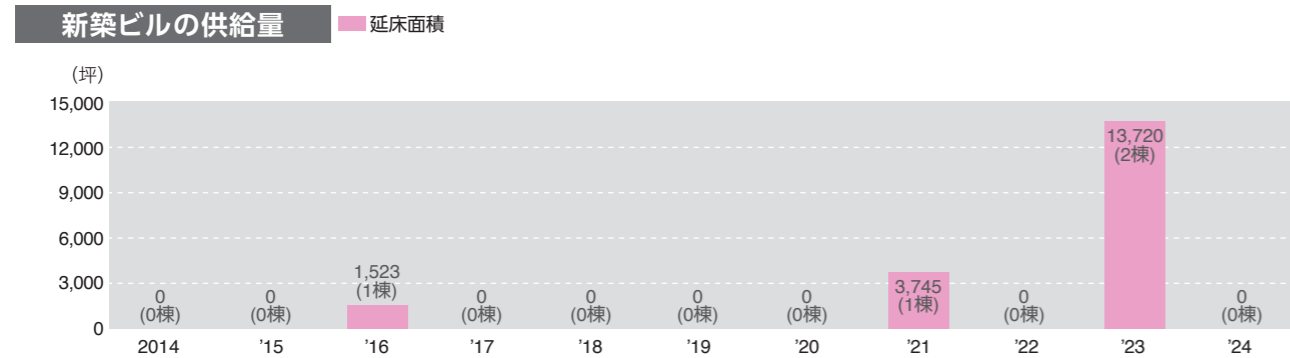
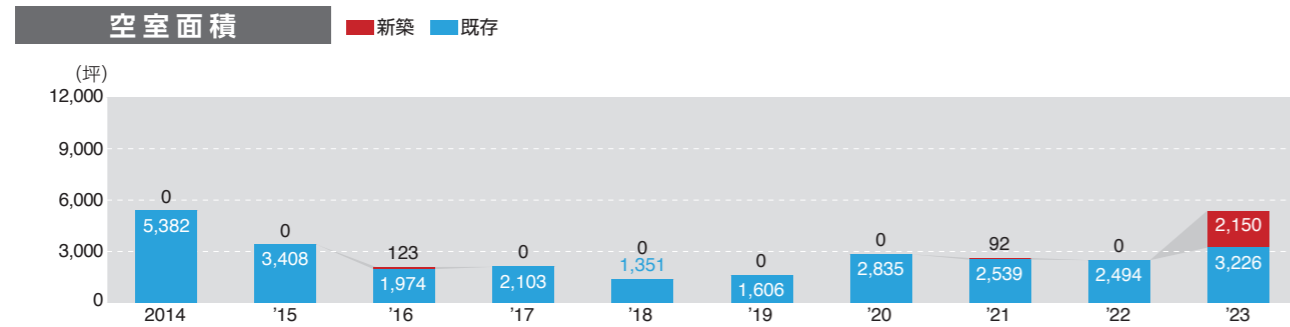
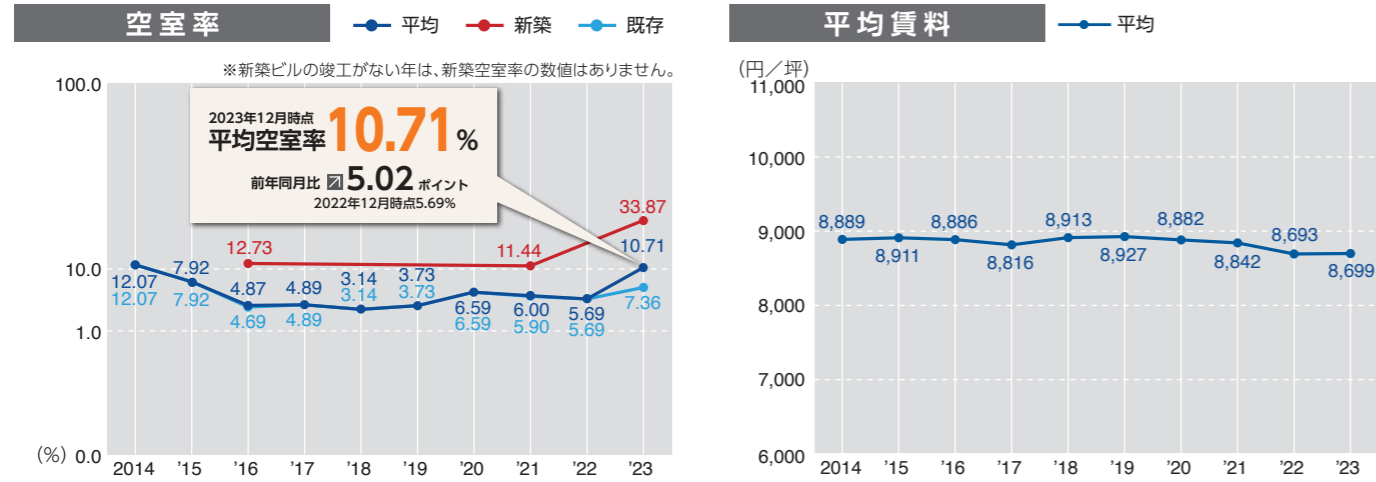
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	91,336	91,299	91,299	90,757	90,757	90,850	94,369	94,369	94,369	92,592
貸室面積(坪)	64,236	64,154	64,154	63,720	63,720	63,720	66,472	66,472	66,472	65,140
空室面積(坪)	10,138	8,953	7,985	8,405	7,559	8,170	8,531	8,635	8,733	8,247
空室率／平均(%)	15.78	13.96	12.45	13.19	11.86	12.82	12.83	12.99	13.14	12.66
空室のあるビル比率(%)	82.61	80.43	78.26	88.89	84.44	73.33	71.74	78.26	78.26	80.00

地区別データ 熊本市



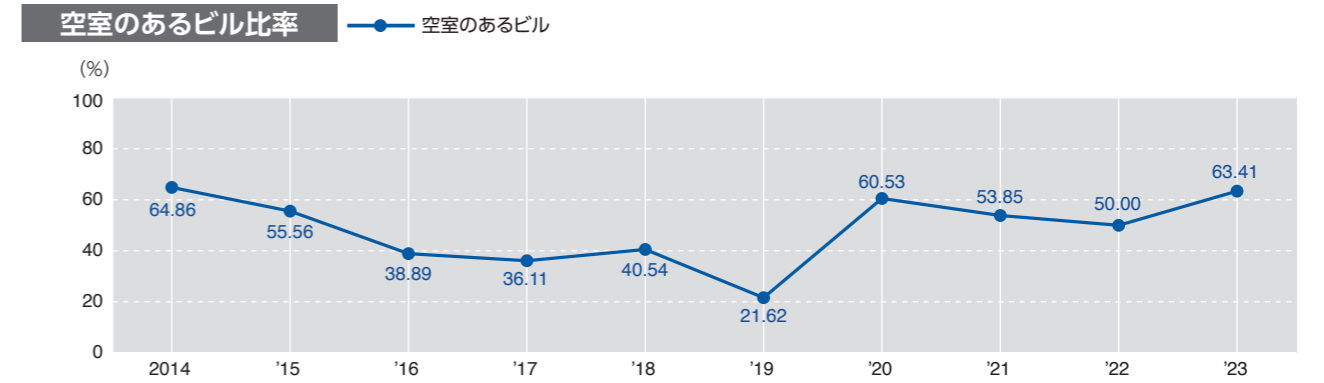
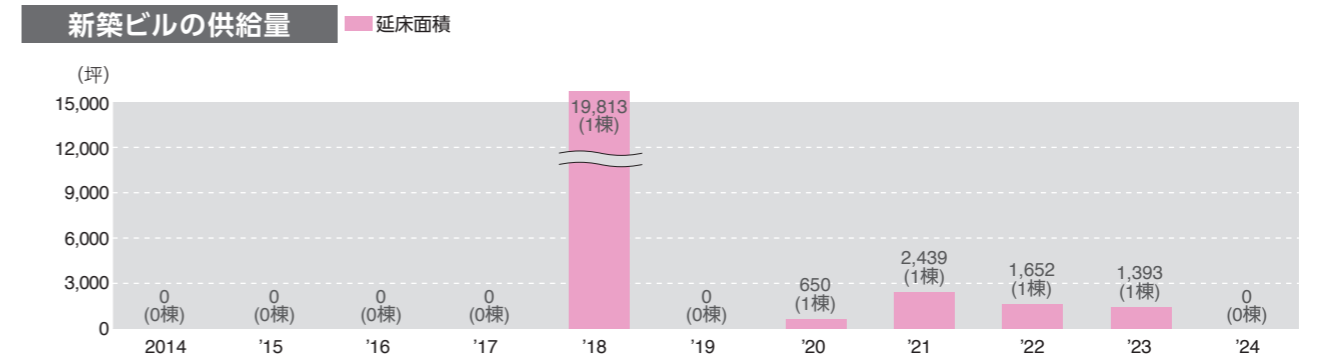
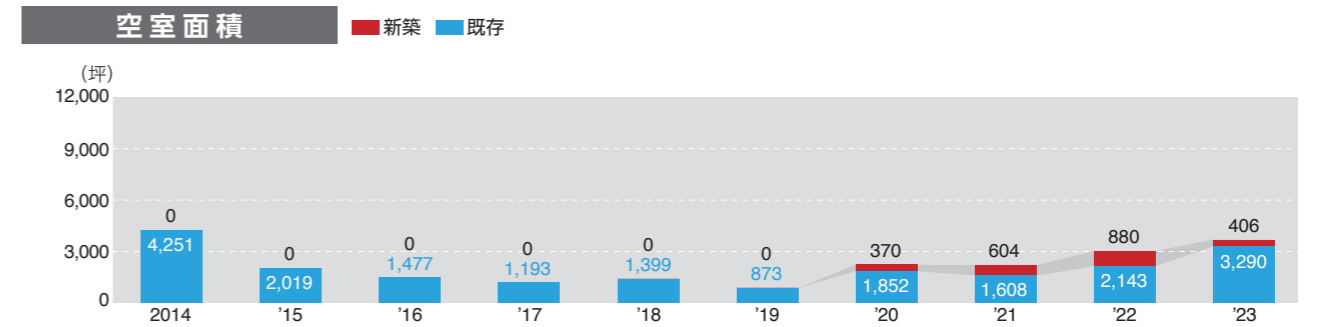
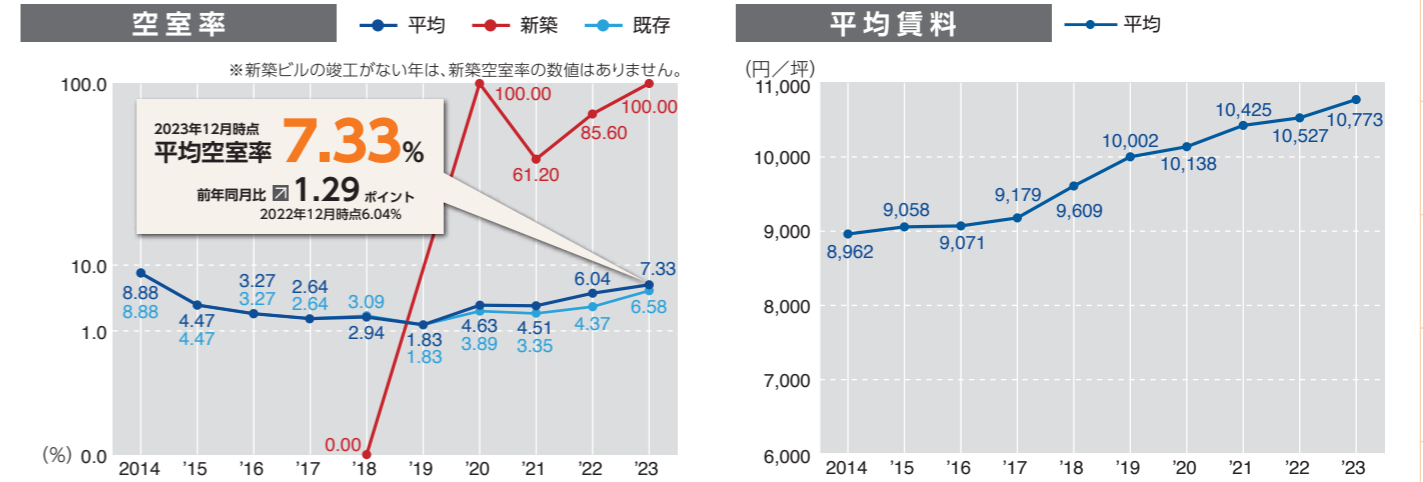
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	78,508	78,508	77,274	82,988	82,988	87,220	89,711	94,851	94,851	101,791
貸室面積(坪)	55,923	55,923	54,975	55,841	55,841	58,127	59,192	60,619	60,619	65,341
空室面積(坪)	4,913	3,290	2,902	2,702	2,390	3,313	3,484	4,059	4,074	5,585
空室率／平均(%)	8.79	5.88	5.28	4.84	4.28	5.70	5.89	6.70	6.72	8.55
空室のあるビル比率(%)	82.69	69.23	52.00	58.82	60.78	60.38	62.96	63.64	69.09	71.93

地区別データ
鹿児島市



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	66,809	64,572	64,900	64,900	64,359	64,359	64,333	68,078	68,089	81,809
貸室面積(坪)	44,598	43,032	43,042	43,042	43,042	43,042	43,042	43,846	43,856	50,203
空室面積(坪)	5,382	3,408	2,097	2,103	1,351	1,606	2,835	2,631	2,494	5,376
空室率／平均(%)	12.07	7.92	4.87	4.89	3.14	3.73	6.59	6.00	5.69	10.71
空室のあるビル比率(%)	73.68	67.57	66.67	66.67	55.56	50.00	69.44	75.68	62.16	76.92

地区別データ
那覇市



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
延床面積(坪)	88,259	84,156	84,192	84,192	104,005	104,005	104,655	107,094	108,746	110,139
貸室面積(坪)	47,882	45,216	45,216	45,216	47,647	47,647	48,017	49,004	50,032	50,438
空室面積(坪)	4,251	2,019	1,477	1,193	1,399	873	2,222	2,212	3,023	3,696
空室率／平均(%)	8.88	4.47	3.27	2.64	2.94	1.83	4.63	4.51	6.04	7.33
空室のあるビル比率(%)	64.86	55.56	38.89	36.11	40.54	21.62	60.53	53.85	50.00	63.41

効果的なリーシング戦略でテナントを誘致。 安定したオフィスビル経営をサポートいたします。

三鬼商事は、1965年の創立以来、情報力と人間力で、全国で約8万を超えるリーシング実績を培ってまいりました。今後は、働き方の多様化に伴い、さらなる情報分析とマーケティングに基づいたリーシング戦略がテナント誘致の鍵に全国に広がる三鬼商事のネットワークと、タイムリーかつ充実した市況情報の分析を強みとして、貴社とテナント様との

なることは間違いありません。
ベストマッチングに貢献いたします。

賃貸ビル事業計画

市場の特性や賃貸条件の傾向、テナント需要や動向を調査。市場分析結果をわかりやすくご報告いたします。

市場特性調査

立地環境等の周辺特性を調査、分析把握

賃貸条件傾向分析

事業計画の募集条件を市場調査データから集計分析

テナント需要調査

- ・周辺賃貸ビル状況およびテナント動向の市場調査分析
- ・プレリーシング活動

基本計画の立案や入居が想定されるテナントの業種、規模、賃貸条件等を検討し、収支経営計画の策定をお手伝いいたします。

テナント企画

入居の考えられるテナントの業種・規模の検討および貸室の検討企画をサポートいたします。

事業計画

事業スケジュールの検討、賃貸条件・入居率の検討、ビル収支経営計画作りをサポートいたします。

市場分析



テナント募集



プランニング



インターネットによる集客や販促物を活用した直接的な営業活動等、最も効果的な方法でテナントへのアプローチをおこない、高い成約率を実現いたします。

テナント仲介業務

全国ネットワークを駆使してテナントの移転情報をいち早くキャッチし、仲介をおこないます。

オーナー代行業務

テナント募集活動および賃貸借契約締結までの業務を代行いたします。

パンフレット作成

テナント募集のためのパンフレット等の作成についてご相談を承ります。

販促活動

テナント成約に向けて、ホームページやメールマガジン等を活用した販促活動をおこないます。

会社概要

商号	三鬼商事株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1
代表番号	03-3272-1411
設立	1965年12月15日
資本金	8,400万円
代表者	飯嶋 清
事業内容	全国主要都市のオフィスビル・店舗・ショールーム等の仲介ならびに企画コンサルタント
従業員数	185名
登録免許	宅地建物取引業者免許証番号 国土交通大臣(15)第629号
所属団体	公益社団法人 全日本不動産協会 公益社団法人 不動産保証協会 一般社団法人 ニューオフィス推進協会 日本貸ビル流通協会
ホームページ	https://www.miki-shoji.co.jp

全国ネットワーク

京橋支店	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1	Tel. 03-3275-1611
新橋支店	〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9	Tel. 03-3580-0171
神田支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-16	Tel. 03-3253-4061
新宿支店	〒163-0638 東京都新宿区西新宿1-25-1	Tel. 03-3348-2741
札幌支店	〒060-0005 北海道札幌市中央区北五条西6-2-2	Tel. 011-231-5481
仙台支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-1	Tel. 022-262-3251
横浜支店	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8	Tel. 045-662-5221
名古屋支店	〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1	Tel. 052-586-2691
大阪支店	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-6-8	Tel. 06-6252-8821
福岡支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20	Tel. 092-471-0861
調査室	〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-1	

貸しビル事業をお考えの企業様には、ビル計画の資料作成などのサポートをさせていただいております。詳細については、下記までお問い合わせください。

三鬼商事株式会社 お客様サービス室(東京)
0120-38-8127
9:00~17:00(土日祝日除く)

●本書のご利用にあたって

本誌の作成にあたり信頼性の高い情報提供が行えるよう細心の注意を払っておりますが、弊社は、本誌のデータを貴社のご判断でご利用いただいた結果の一切につきましては責任を負うものではありません。
©三鬼商事株式会社



信頼のネットワーク

三鬼商事株式会社

福岡支店

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20
TEL(092)471-0861 FAX(092)471-7015

URL <https://www.miki-shoji.co.jp>